
easyHousing

環境設定マニュアル Windows8 編 第 1.7 版

2015年3月9日

日本電気株式会社

改版履歴

版	作成日	内容
初版	2013/03/06	・新規作成
1.1 版	2013/08/07	2.1 Windows ユーザの権限について 電子署名ライブラリ v1.02 に合わせて説明文を修正 4.1 Internet Explorer の設定 以下の設定手順を追加 ・タブの「ポップアップの発生時」 ・詳細設定の「暗号化されたページをディスクに保存しない」 5.1 JRE のインストール ダウンロードの説明文を一部修正 5.2 easyHousing 電子署名ライブラリ 電子署名ライブラリ v1.02 に合わせて、以下を変更 ・既存の手順を 5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロードと 5.2.2 電子署名ライブラリのインストールに分割し、 説明文を修正 ・5.2.3 電子署名ライブラリのアップグレードを追加 ・(補足) Administrator 権限の追加・削除手順を削除 5.3 Adobe Reader のインストール 手順の説明を URL のリンクに変更 補足 1 必要ソフトウェアのアンインストール手順、補足 2 必要ソフトウェアの更新手順を追加
1.2 版	2013/10/30	4.1 Internet Explorer の設定 拡張保護モードの設定手順を追加 5 必要ソフトウェアのセットアップ 説明文を修正 5.1 JRE のインストール JRE のダウンロード画面を変更 5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード ログイン時の説明を修正
1.3 版	2014/2/5	対応ブラウザに IE11 の追加 4.1 Internet Explorer の設定 ・IE11 に関する記載を追加 5.1.1 JRE1.7 のインストール手順 ・セキュリティ・プロンプト復元についての説明を追加

1.4 版	2014/2/24	3.1 電子証明書のインストール ・ 証明書のファイル名を修正 ・ セキュリティ警告の画像を変更
1.5 版	2014/12/26	5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード ・ 一部画像の変更(手順③、④)
1.6 版	2015/1/7	5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード ・ Java 先読み画面に関する説明文の削除
1.7 版	2015/3/9	5.1.1 JRE のインストール手順 ・ インストール手順を JRE1.7 から JRE1.8 に変更

目 次

1	はじめに	2
2	利用者環境	3
2.1	Windows ユーザの権限について	3
3	電子証明書	4
3.1	電子証明書のインストール	4
3.2	電子証明書の削除	10
4	インターネットエクスプローラ	13
4.1	Internet Explorer の設定	13
5	必要ソフトウェアのセットアップ	24
5.1	JRE のインストール	24
5.1.1	JRE1.8 のインストール手順	26
5.2	easyHousing 電子署名ライブラリ	29
5.2.1	電子署名ライブラリのダウンロード	29
5.2.2	電子署名ライブラリのインストール	34
5.3	Reader について	42
補足 1	必要ソフトウェアのアンインストール手順	43
補足 1.1	Java アンインストール手順	43
補足 1.2	電子署名ライブラリ アンインストール手順	48
補足 2	必要ソフトウェアの更新手順	53
補足 2.1	Java アップデート手順	53
補足 2.2	電子署名ライブラリ アップグレード手順	58

1 はじめに

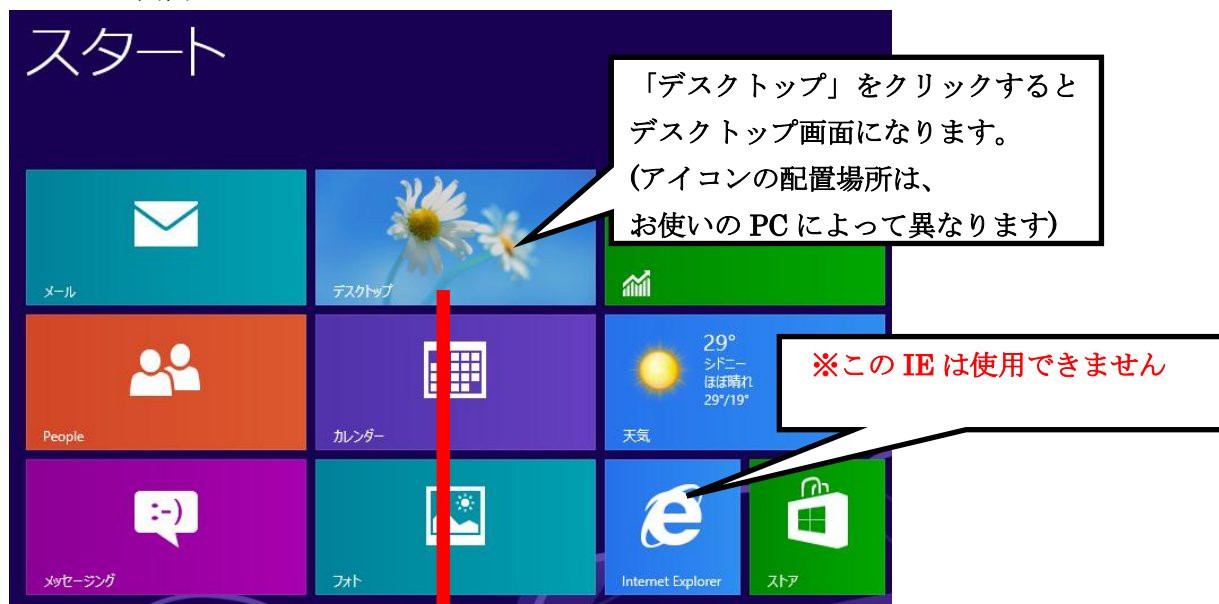
このマニュアルは、本サービス利用にあたり事前に準備が必要な項目を説明します。

- ・利用者環境の確認
- ・電子証明書のインストール
- ・インターネットエクスプローラ(IE)の設定
- ・必要ソフトウェア（電子署名ライブラリ、JRE）のセットアップ

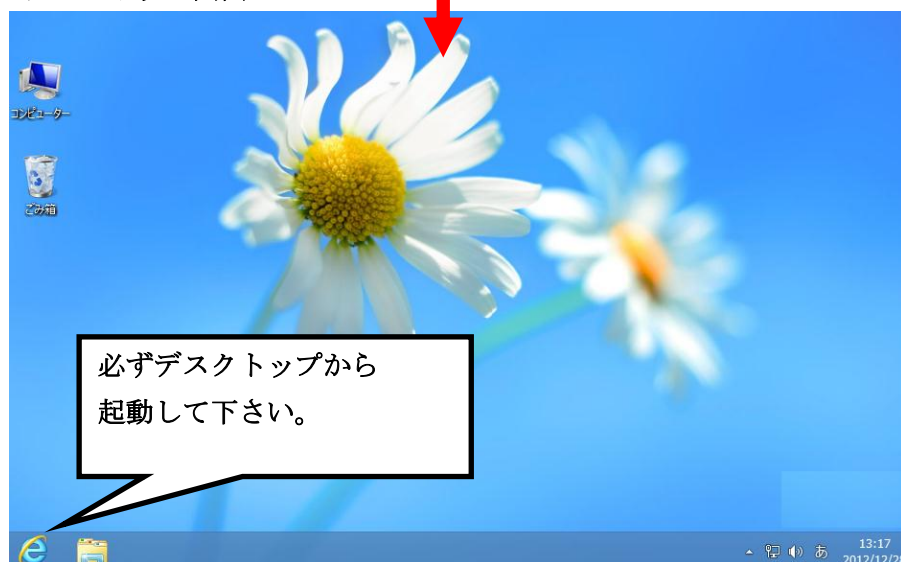
※このマニュアルは、Windows8 を対象としています。

また、easyHousing の各作業はスタート画面ではなくデスクトップ画面から行なってください。

スタート画面



デスクトップ画面



2 利用者環境

2.1 Windows ユーザの権限について

本サービスは事前準備の段階で、Administrator 権限が必要になります。

事前準備終了後、サービス利用時は Administrator 権限が無くても問題ありません。

電子証明書のインストール	Administrator 権限は不要です。
インターネットエクスプローラの設定	Administrator 権限は不要です。
電子署名ライブラリのインストール	Administrator 権限が無い場合、Administrator 権限を付与するか、インストール中に Administrator のパスワード入力が必要です。
JRE のインストール	Administrator 権限が無い場合、Administrator 権限を付与するか、Administrator 権限を持つ他のユーザからのインストールが必要です。

3 電子証明書

3.1 電子証明書のインストール

電子証明書のインストール手順を説明します。

- ※ 本作業は、発注処理・請負処理の契約行為を行う端末に必要な作業です。
参照するだけであれば不要です。

●用意するもの

- *1 「easyHousing 電子証明書」のCD-ROM
- *2 「証明書パスワード（PINコード）」を記載している葉書

※証明書を更新する場合、新しい証明書もインストールする手順は同じですが、古い証明書を削除する必要があります。
(10 ページ『3.2 電子証明書の削除』を参照してください)

①電子証明書のCD-ROM（*1）をドライブにセットしてください。

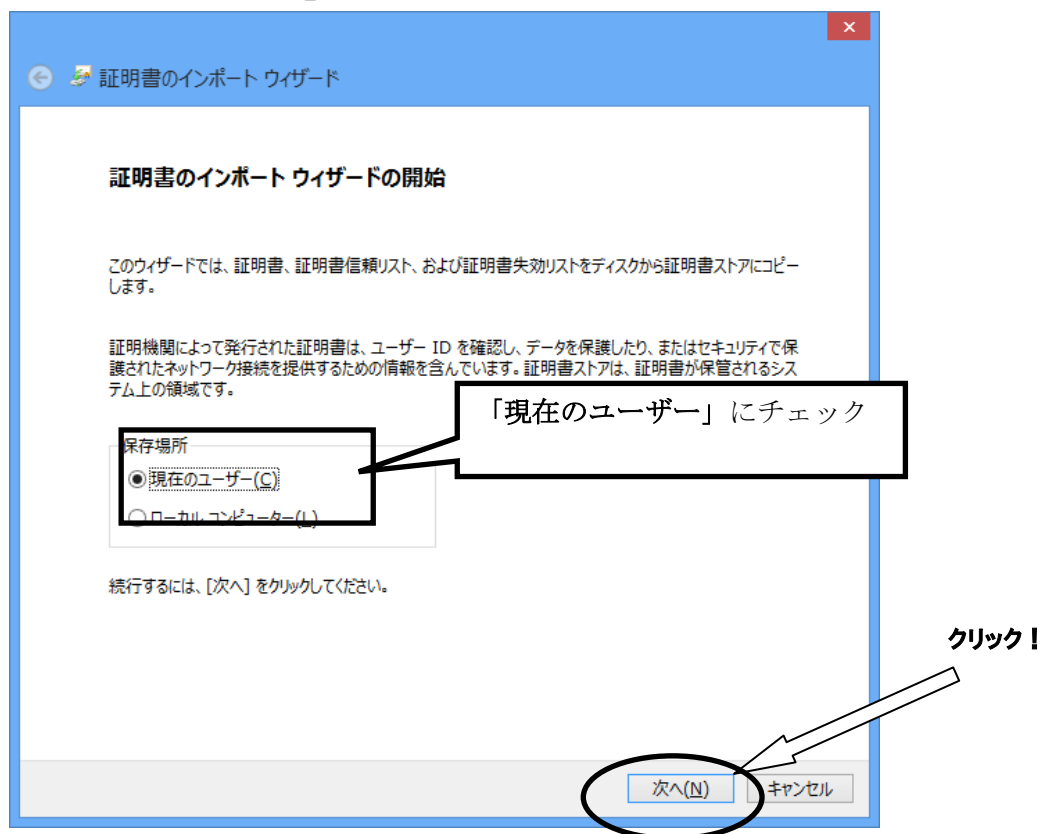
証明書ファイル（「CERT_xxxxxx.p12」または「xxxx.p12」）をダブルクリックし、インストールを開始します。

◆メモ◆

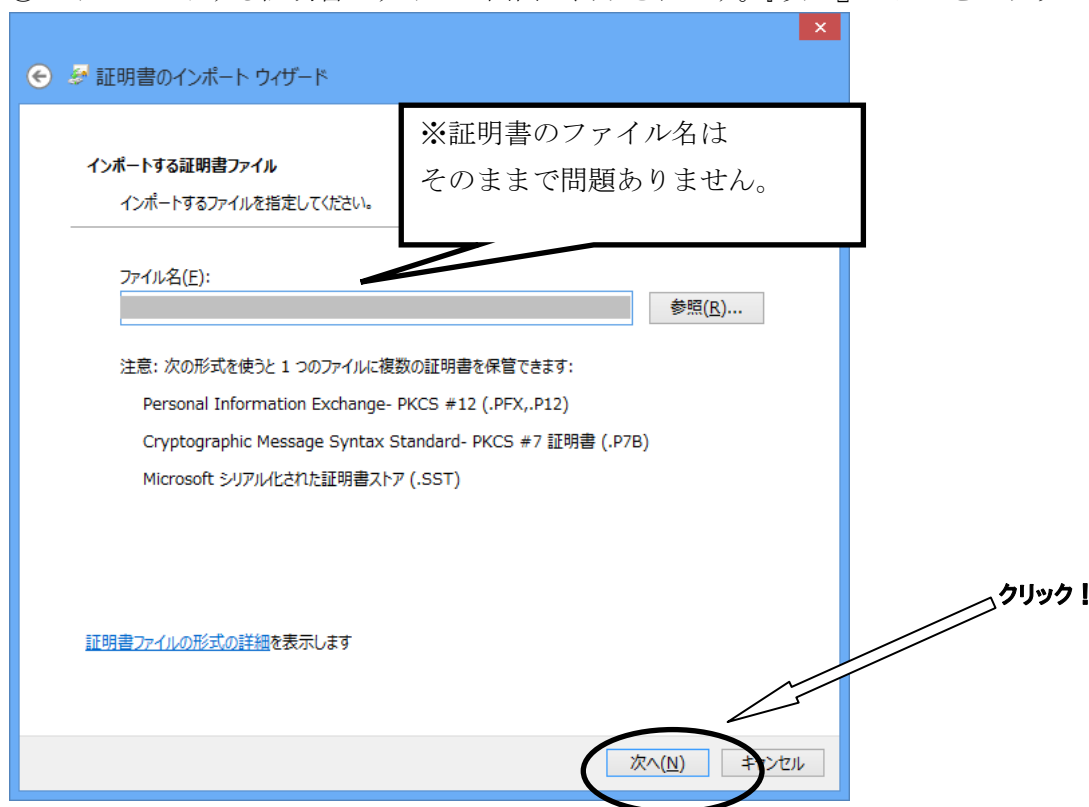
オートラン機能が有効なシステムでは、CD-ROM の内容が自動的に読み込まれ 下図の画面が表示されます。

オートランに対応していないシステムや、ファイルを指定してインストールする場合は、エクスプローラから CD-ROM ドライブを開いていただければ同様な操作ができます。

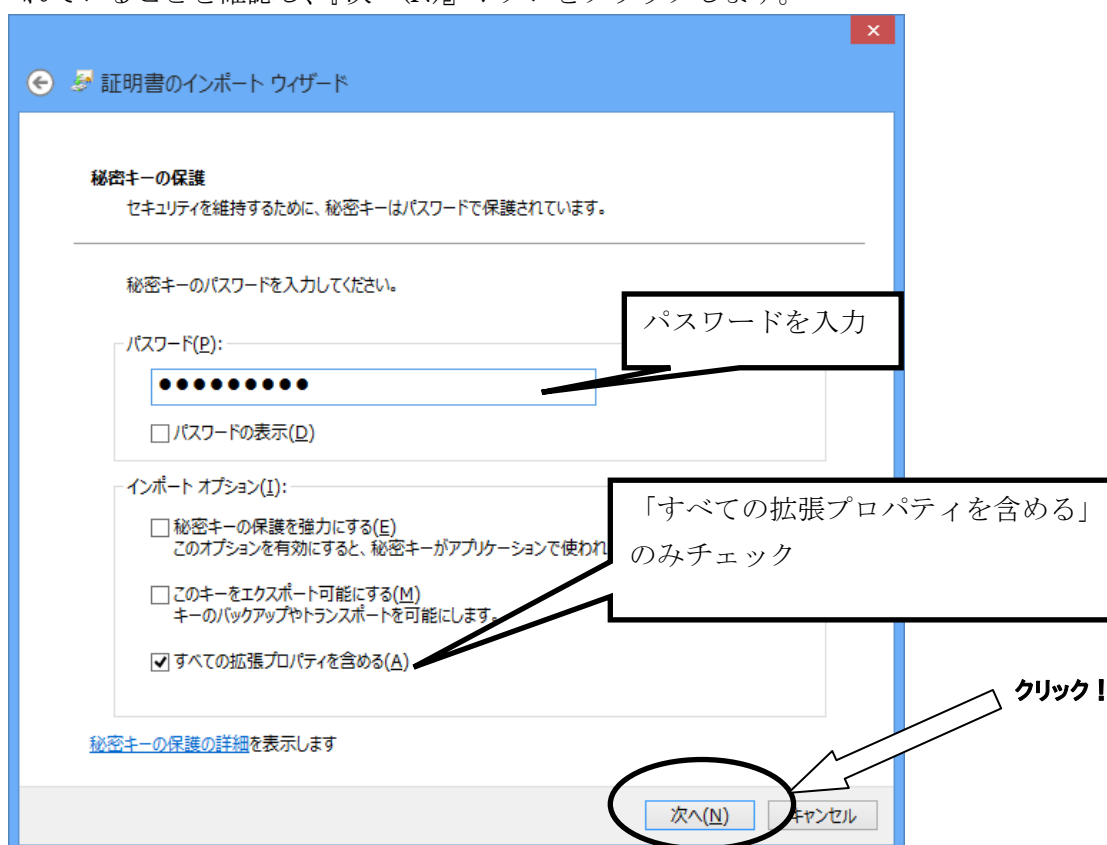
- ②「証明書のインポートウィザード」が表示されるので、「現在のユーザー」にチェックが付いていることを確認し、『次へ』ボタンをクリックします。



③<インポートする証明書ファイル>画面が表示されます。『次へ』ボタンをクリックします。



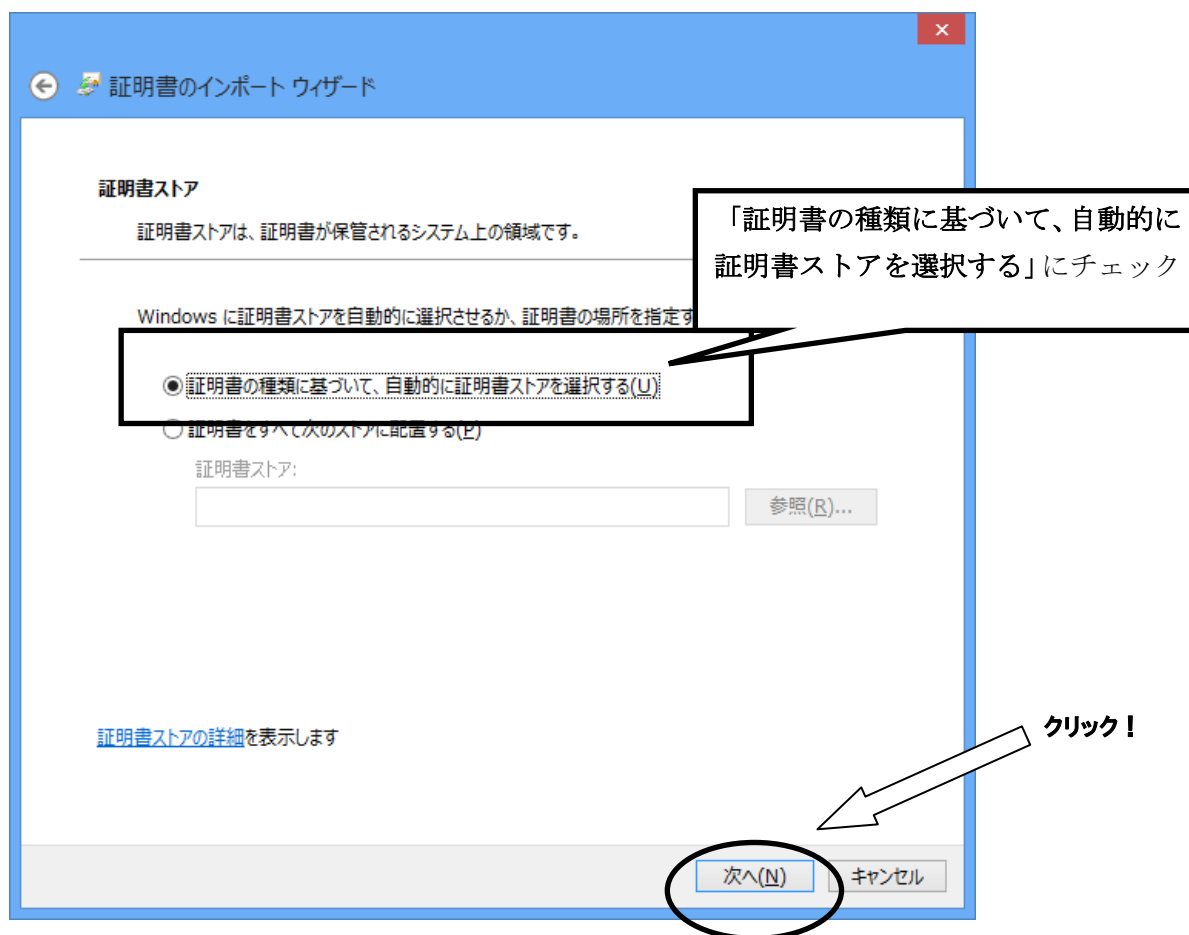
④「秘密キーの保護」画面で、「証明書パスワード（PINコード）」の葉書（*2）に記載されているパスワードを入力し、チェックボックスは「すべての拡張プロパティを含める」のみチェックされていることを確認し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



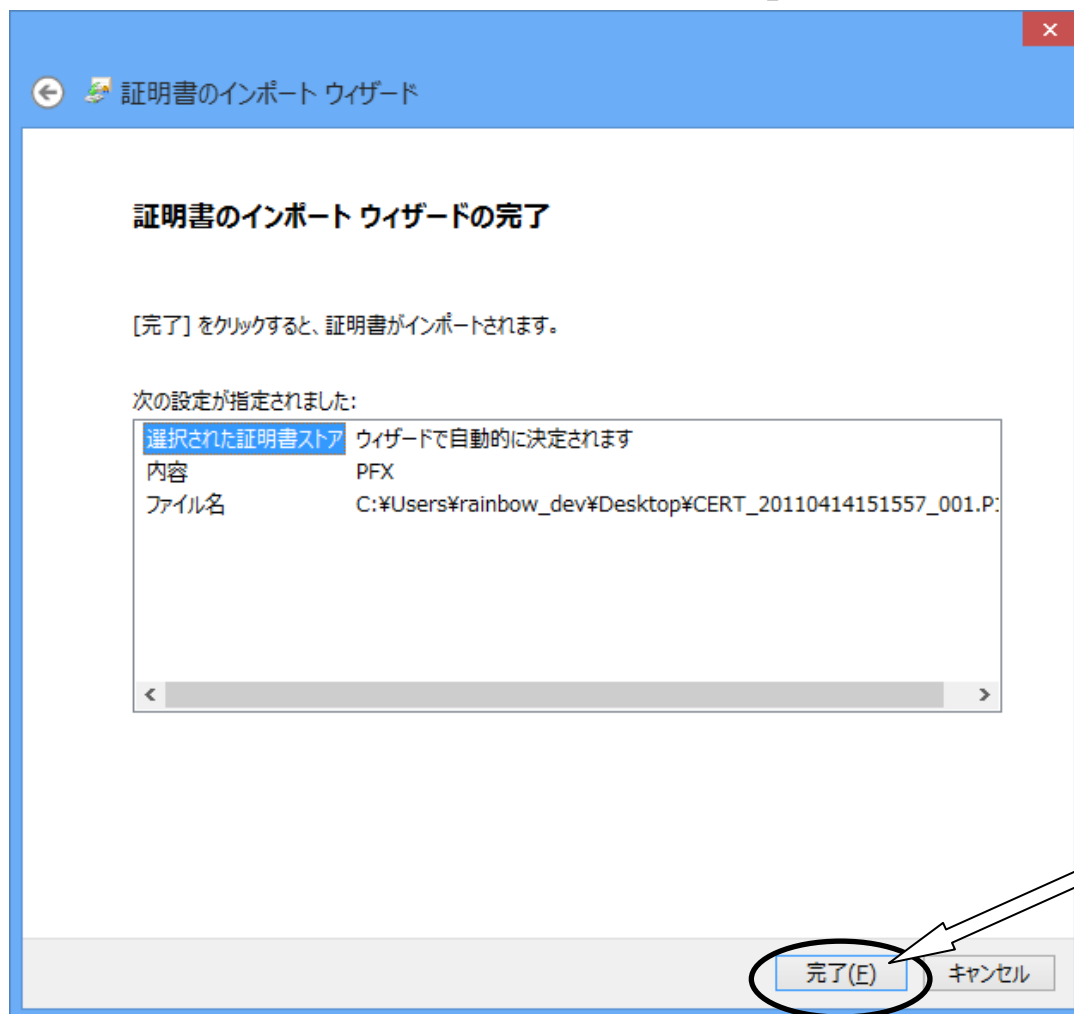
★注意★

- ・パスワードは「大文字」「小文字」を区別しています。葉書に表記されている通りに入力を行ってください。
- ・パスワードを打つと全ての文字が「●」で表示されますので、お間違えの無いように入力を行ってください。

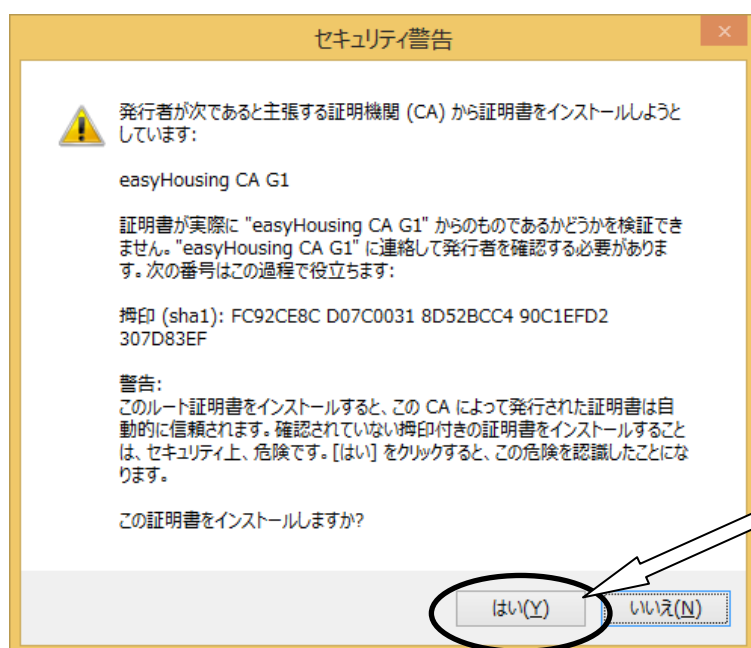
⑤＜証明書ストア＞画面では、「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」を選択し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



⑥＜証明書インポート ウィザードの完了＞画面では、『完了』をクリックします。



※環境によっては、以下のような画面が表示される場合がありますが「はい」をクリックしてください。



★注意★

電子証明書の保管庫は Windows の証明書ストア“個人”になるので、発注/請負を行うには、電子証明書をインストールした際のユーザーアカウントで Windows にログインしておく必要があります。

3.2 電子証明書の削除

easyHousing の証明書が複数インストールされている場合、easyHousing を利用中に以下のような画面が表示される場合があります。

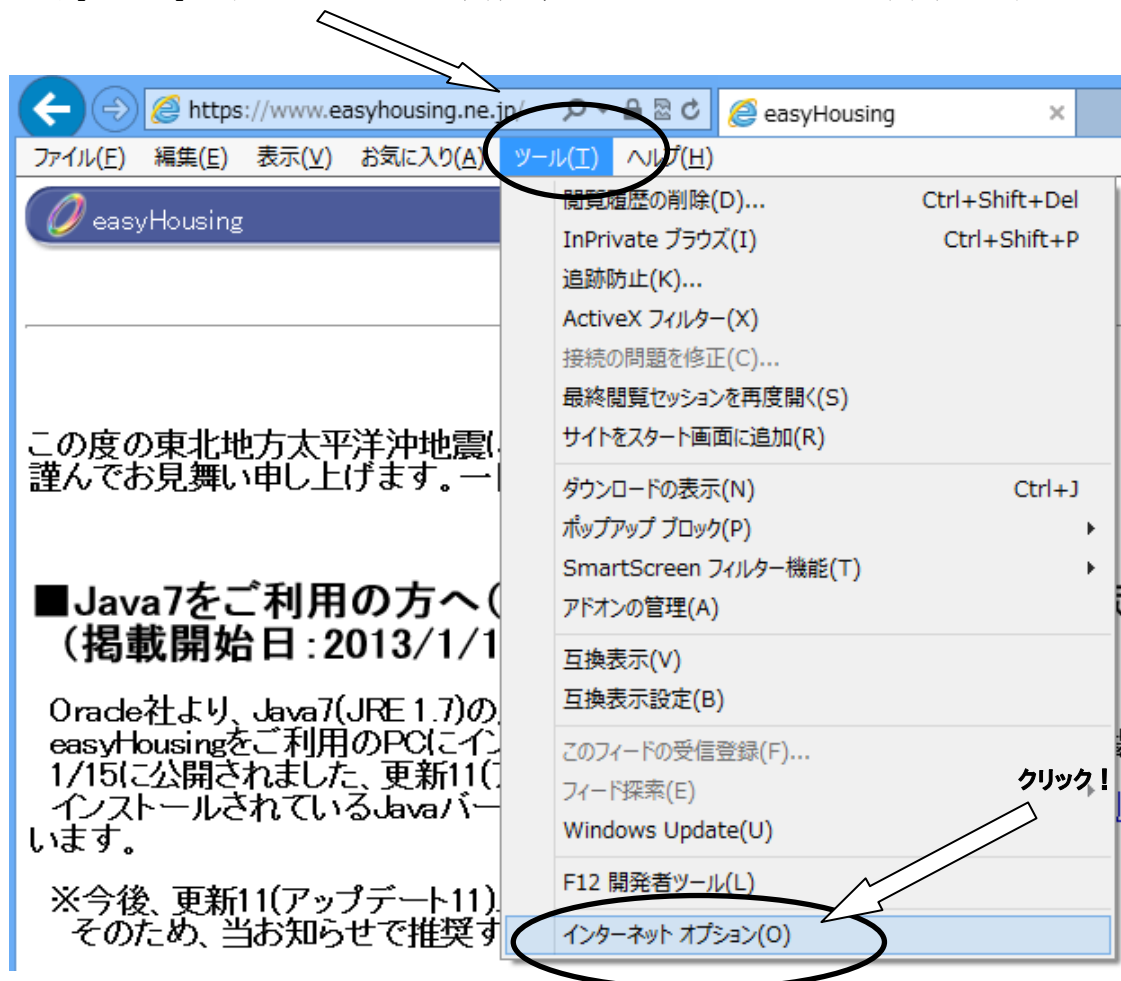


証明書更新後に残る古い証明書など、不要な証明書は削除をお願い致します。
削除の手順は以下になります。

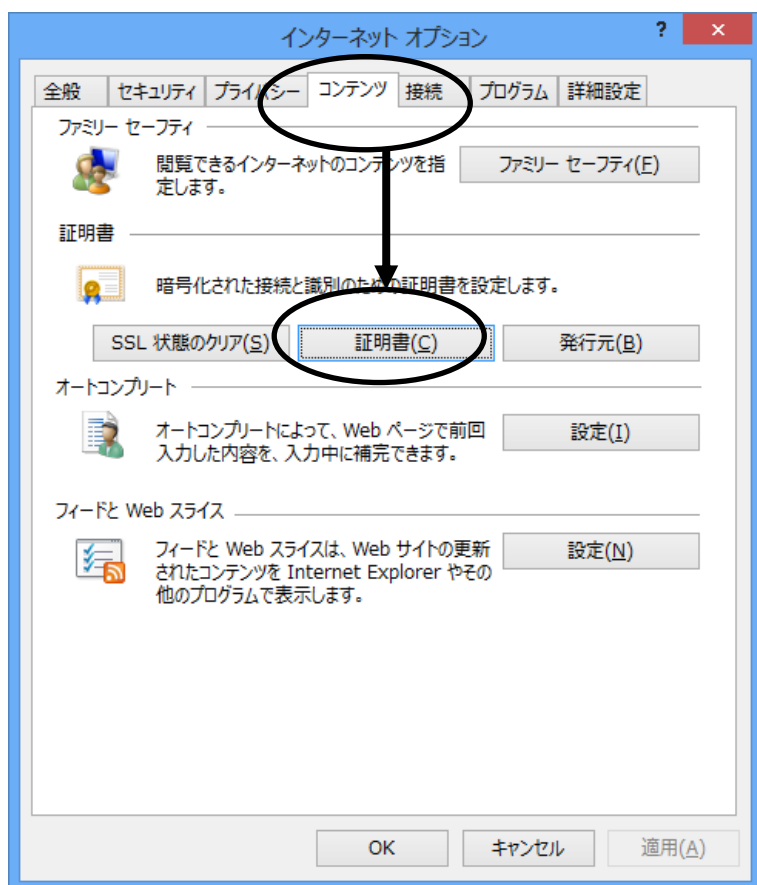
①Internet Explorer を起動します。

②メニューバーの【ツール】－【インターネットオプション】を開きます。

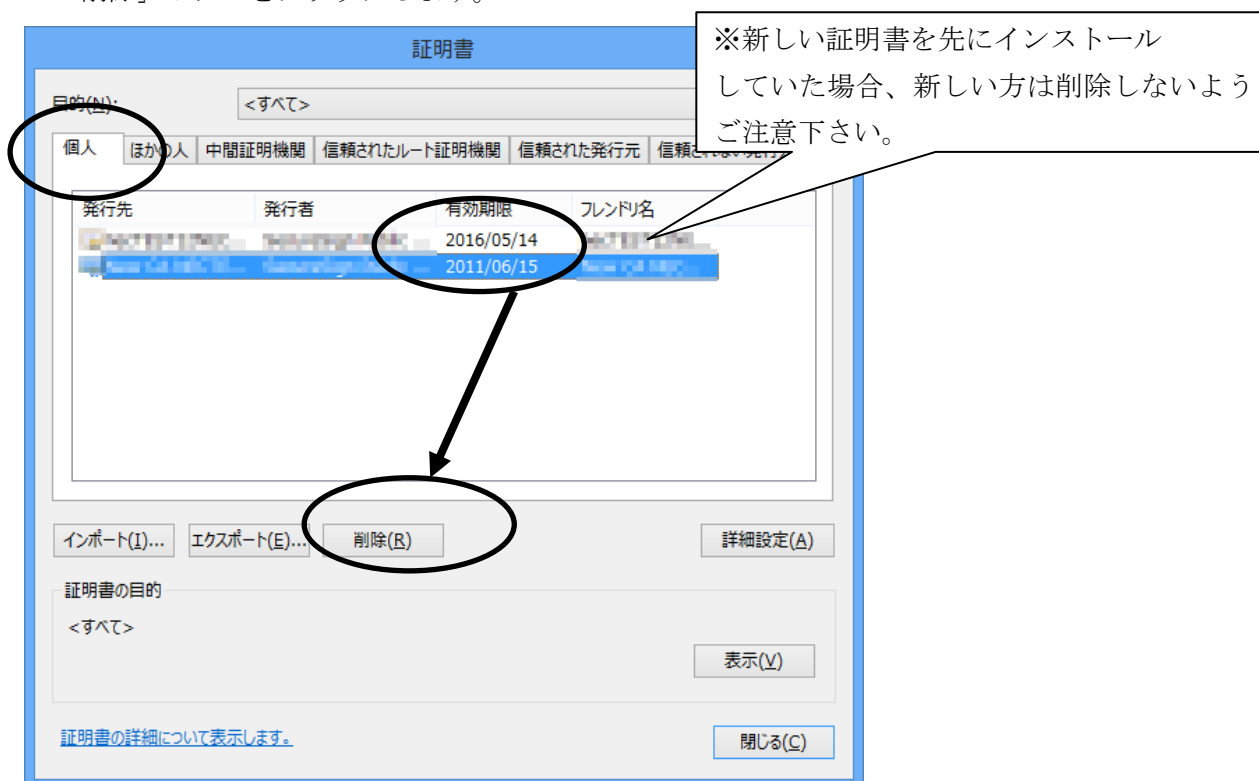
(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードの Alt キーを押下すると表示されます)



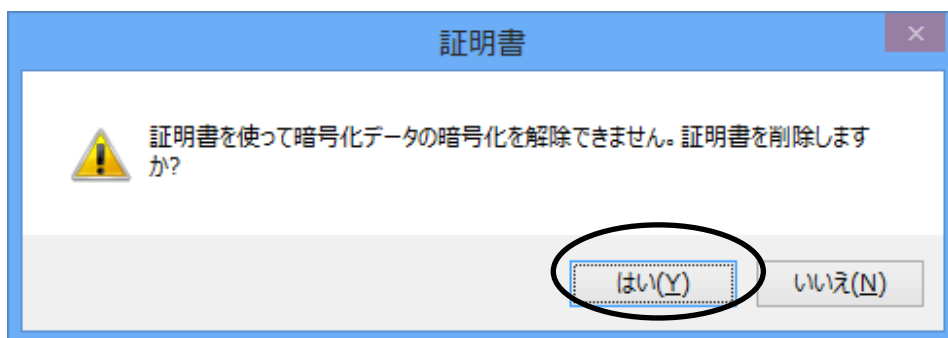
③ 「コンテンツ」タブ、「証明書」ボタンの順にクリックしてください。



④ 「個人」タブで easyHousing の古い証明書をクリックした後、「削除」ボタンをクリックします。



⑤警告画面では、「はい」をクリックして削除します。



⑥証明書画面に戻った後、「閉じる」ボタンをクリックします。



⑦<インターネットオプション>画面に戻ったら、『OK』ボタンクリックで画面を閉じ、削除は終了です。

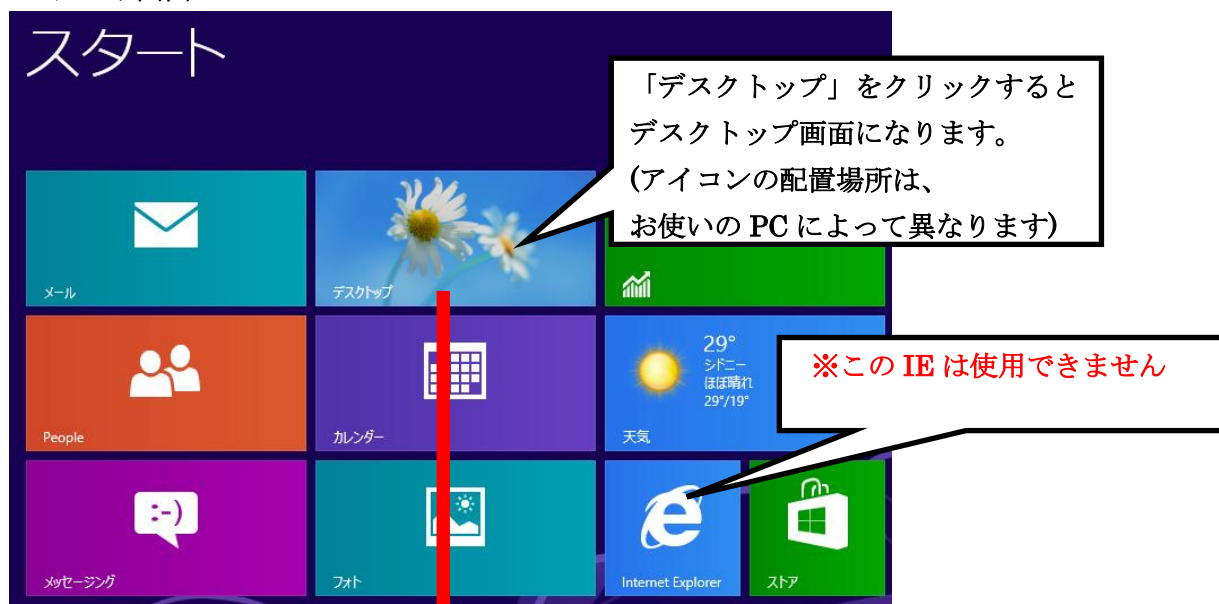
4 インターネットエクスプローラ

本サービスでは以下の設定を推奨しますが、セキュリティレベルの変更は、お客様のご判断のもとに自己責任で行ってください。

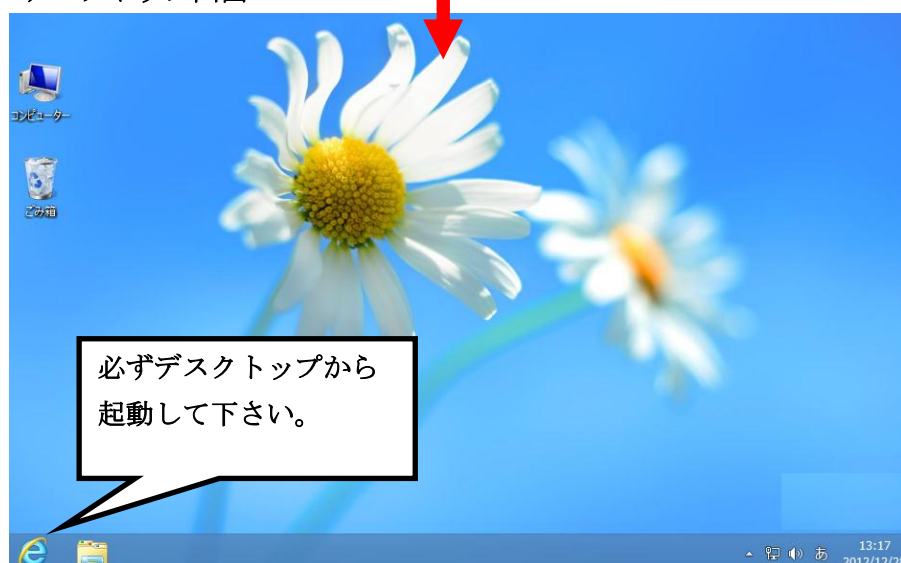
このマニュアルでは、Internet Explorer 10, Internet Explorer 11 について説明しています。

※Internet Explorer はスタート画面ではなく、デスクトップ画面から起動してください。

スタート画面



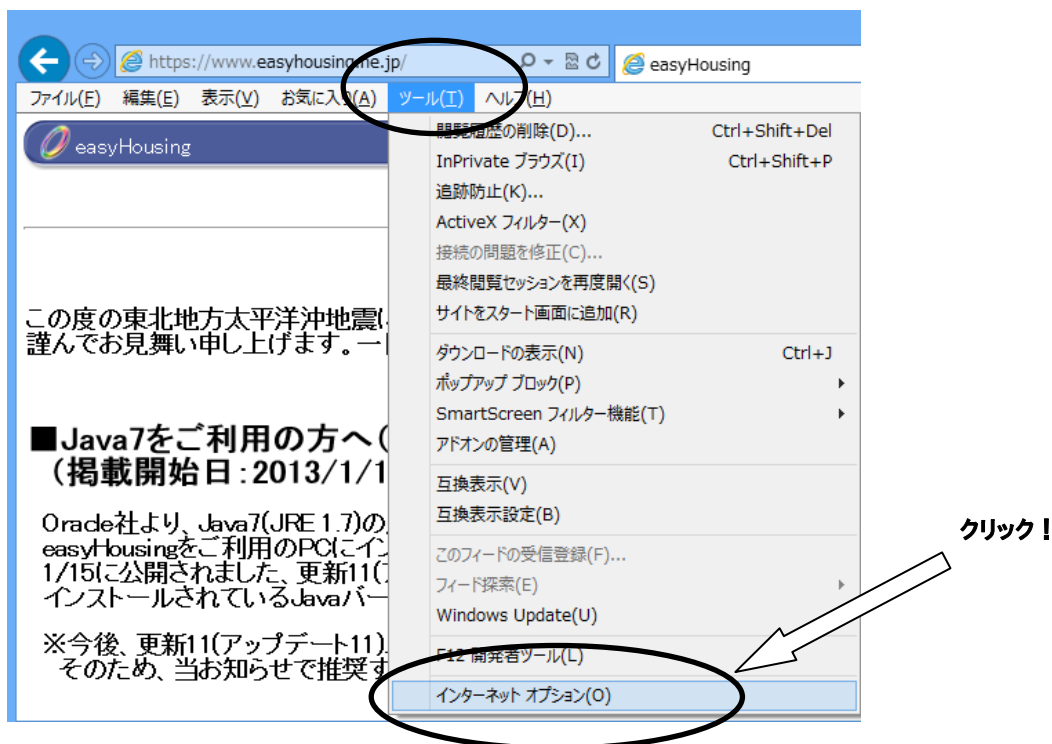
デスクトップ画面



4.1 Internet Explorer の設定

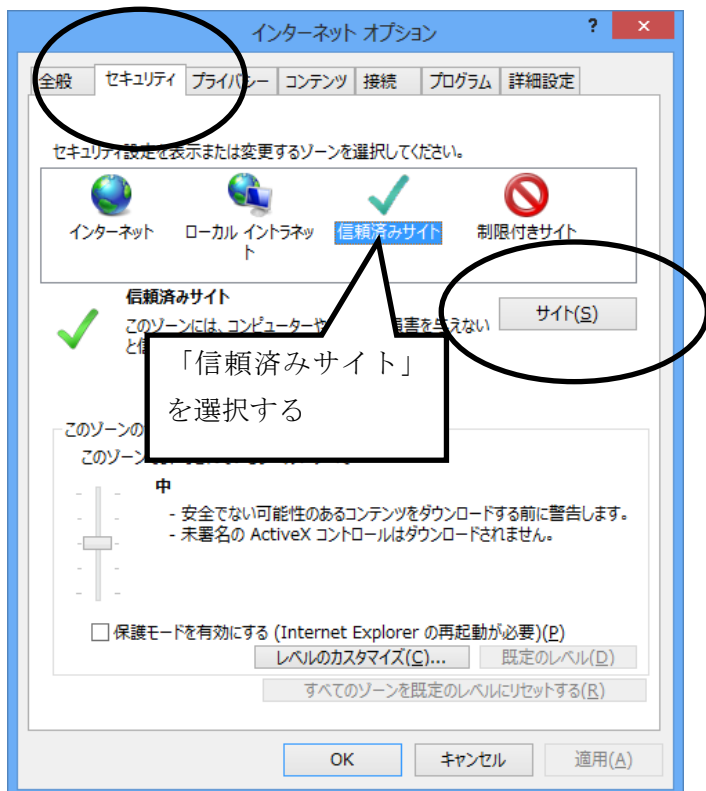
①メニューバーの【ツール】－【インターネットオプション】を開きます。

(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードの Alt キーを押下すると表示されます)

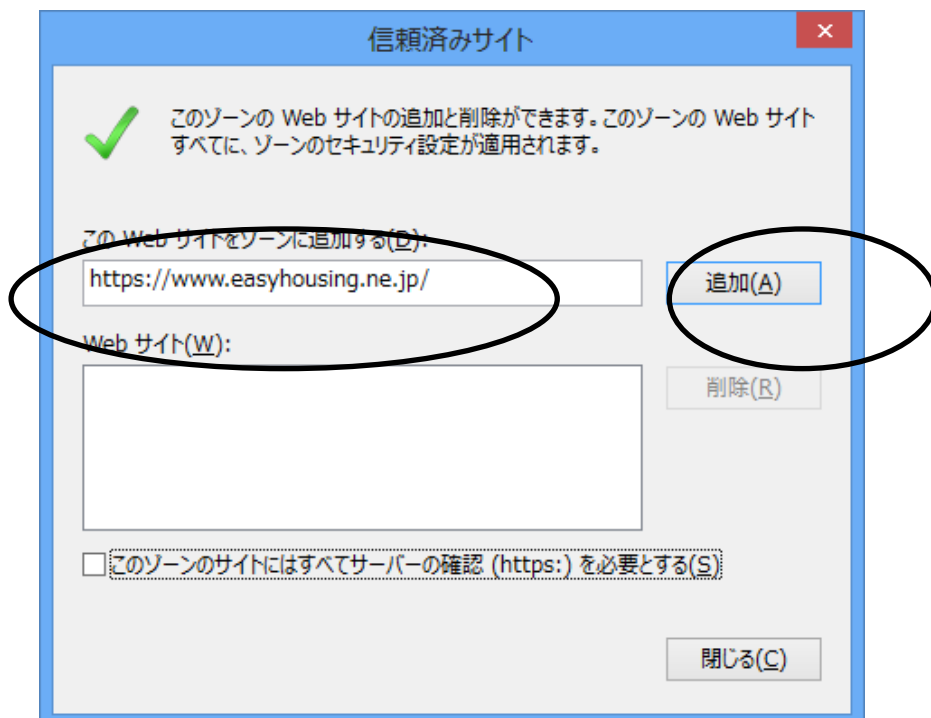


②信頼済みサイトの設定をします。

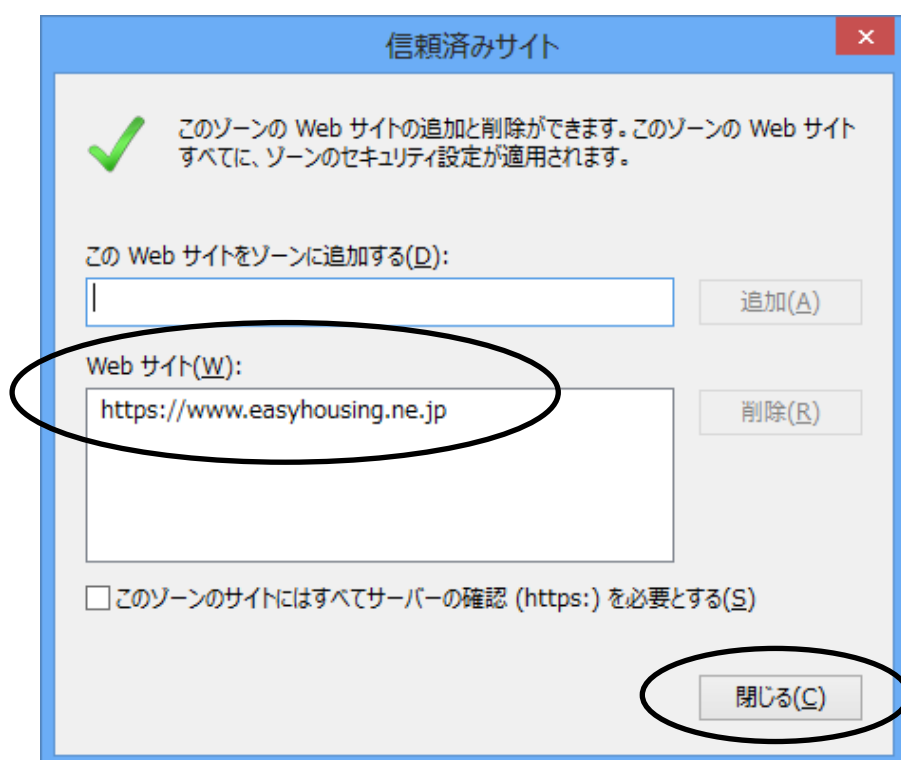
1. 「セキュリティ」タブ→「信頼済みサイト」の順に選択し、『サイト』ボタンをクリックして下さい。



2.信頼済みサイトの設定画面が表示されるので、「この Web サイトをゾーンに追加する」に「https://www.easyhousing.ne.jp/」と入力し、「追加」ボタンを押下してください。

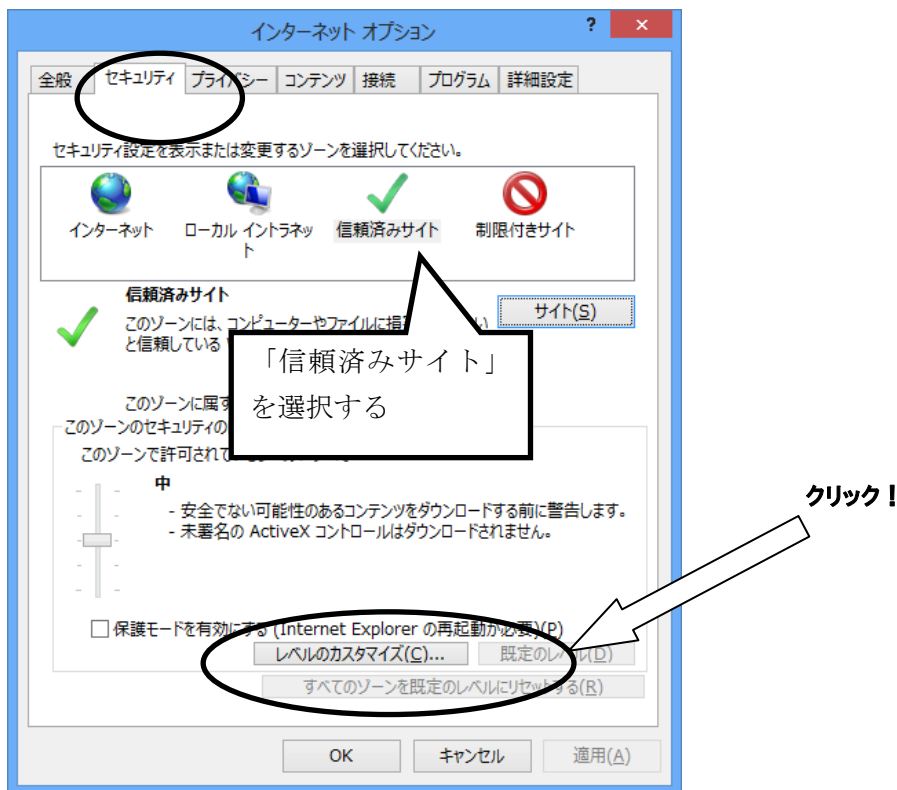


3.「Web サイト」に「https://www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンを押下してください



③<インターネットオプション>画面で、[セキュリティ] タブを選択します。

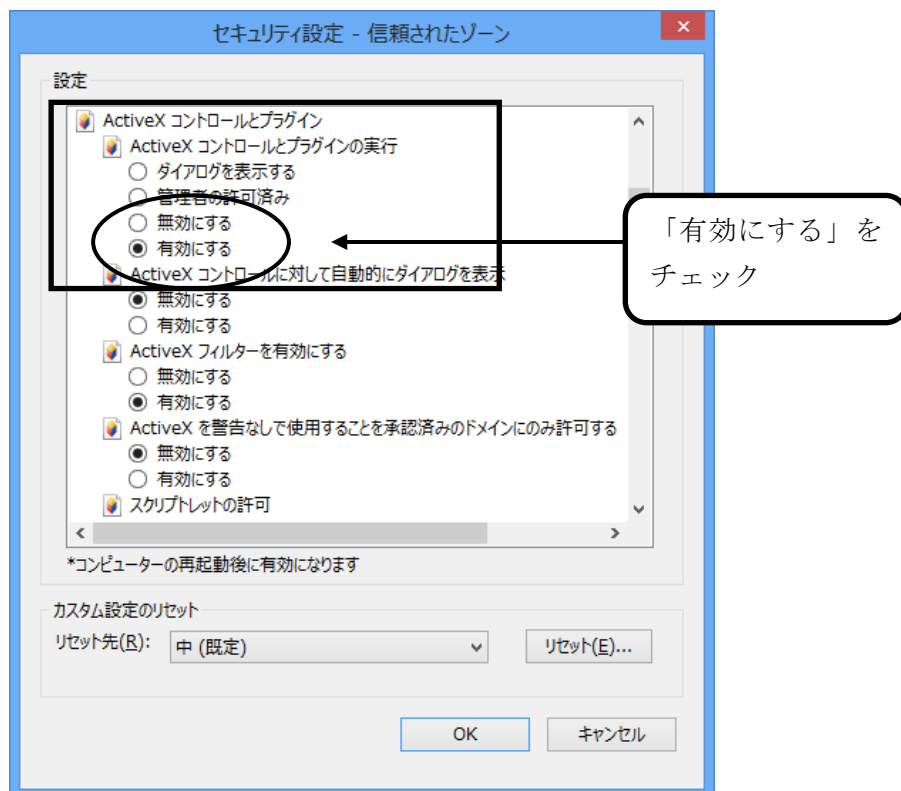
「信頼済みサイト」を選択し、『レベルのカスタマイズ』ボタンをクリックして下さい。



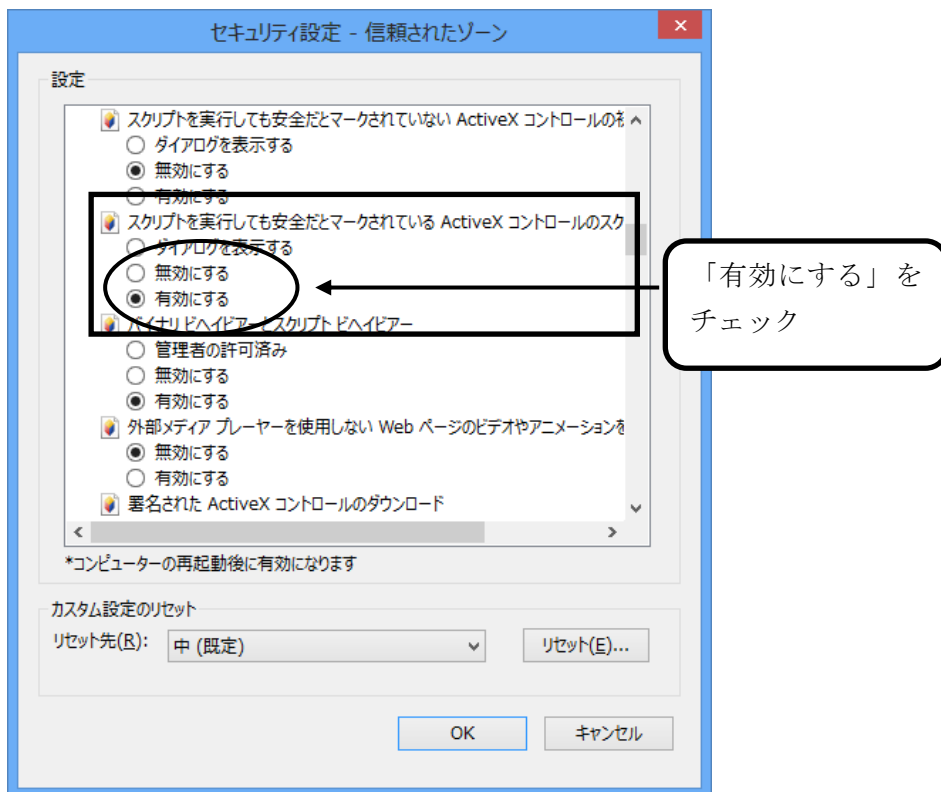
④<セキュリティの設定>画面が表示されます。

●ActiveX コントロールとプラグインの実行

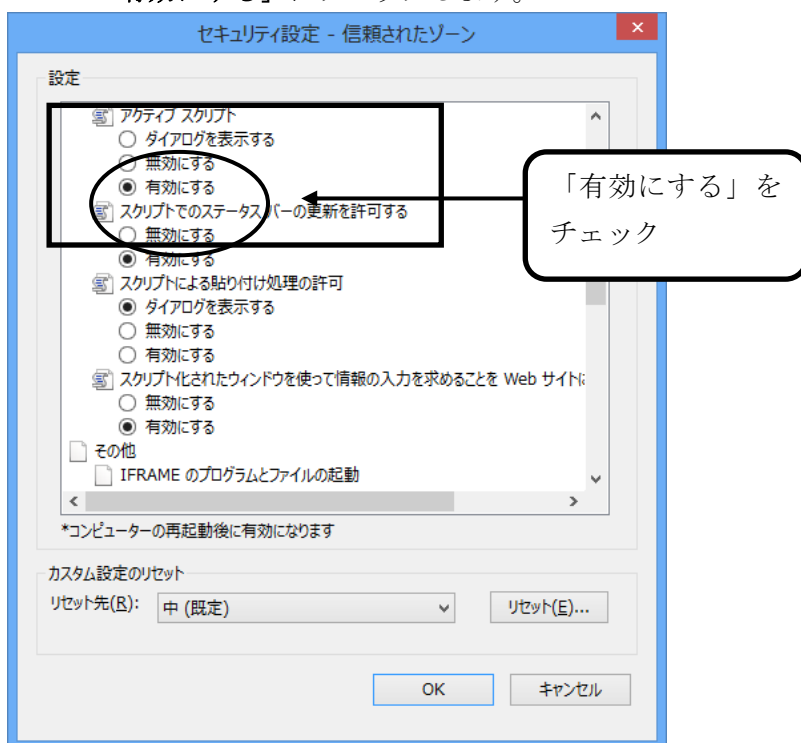
→「有効にする」にチェックします。



- スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行
→「有効にする」にチェックします。

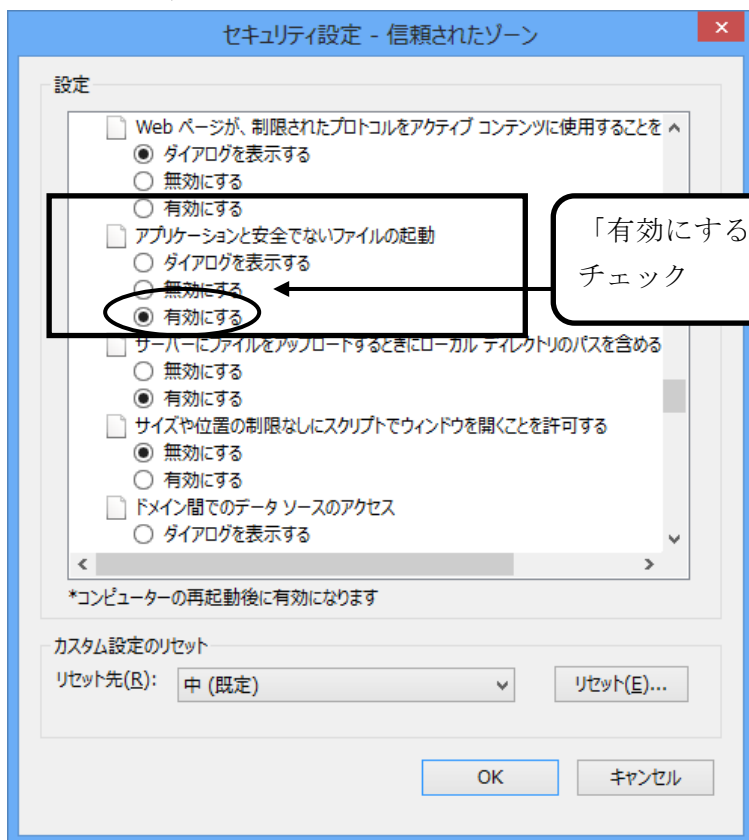


- アクティブスクリプト
→「有効にする」にチェックします。



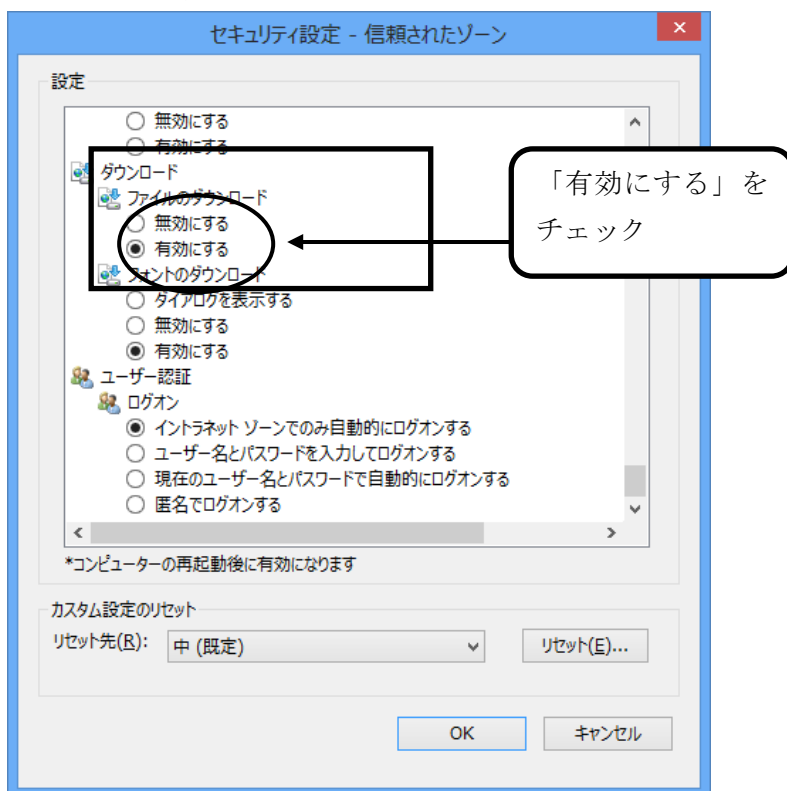
●アプリケーションと安全でないファイルの起動

→「有効にする」にチェックします。



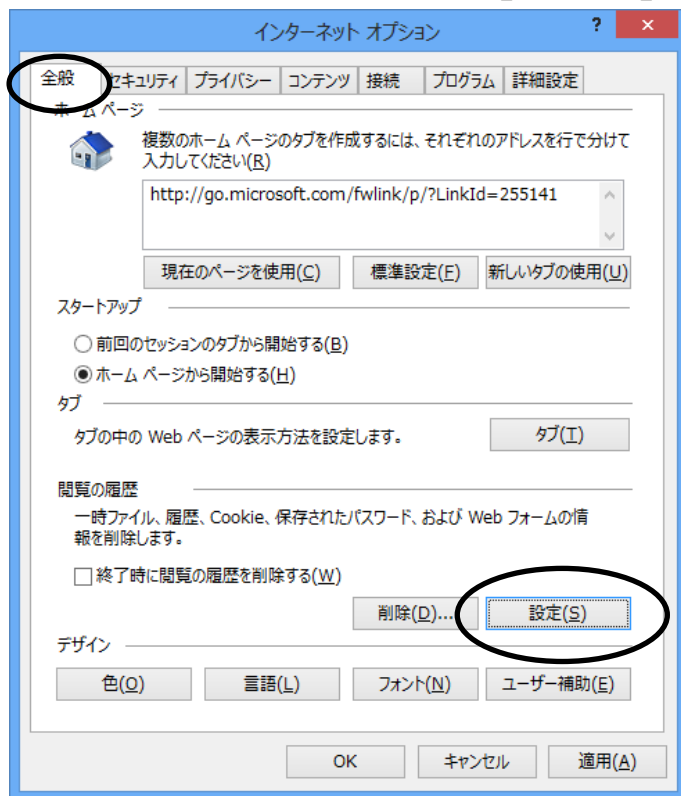
●ファイルのダウンロード

→「有効にする」にチェックします。



⑤『OK』ボタンをクリックし、＜インターネットオプション＞画面に戻ります。

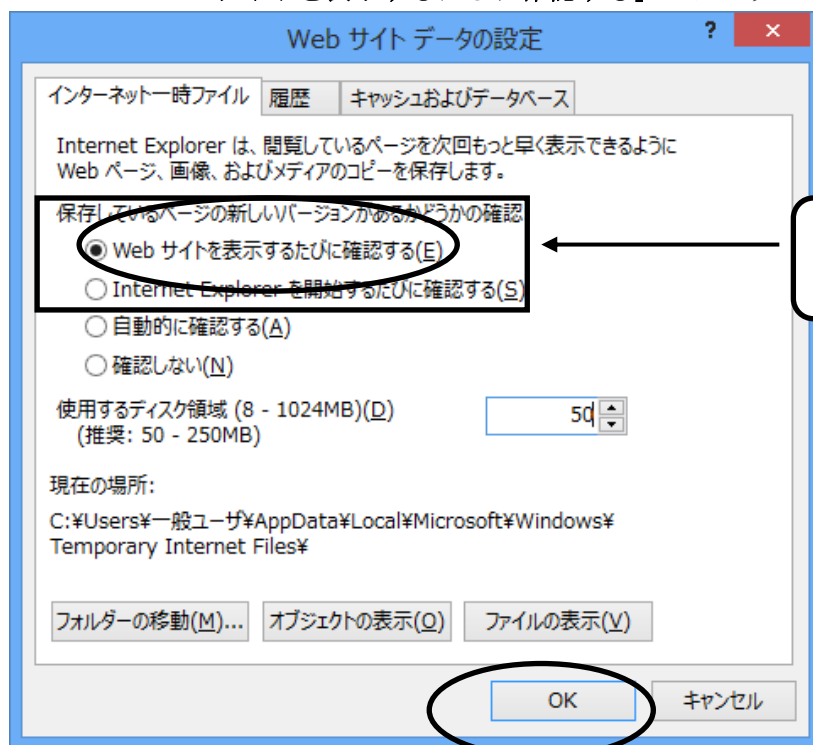
⑥〔全般〕タブを選択し、『閲覧の履歴』の『設定』ボタンをクリックしてください。



⑦「インターネット一時ファイルと履歴の設定」

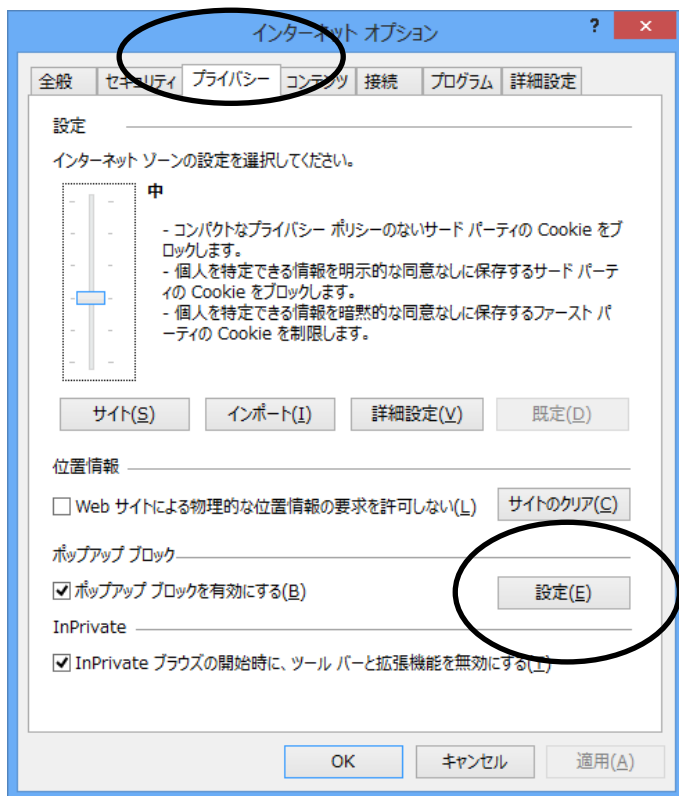
●保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認

→「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェックし、OK ボタンをクリックします。

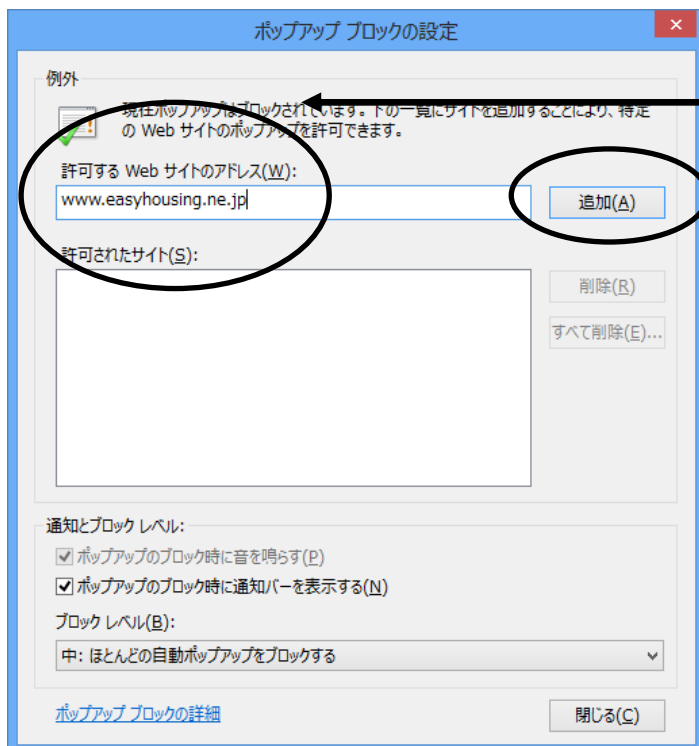


「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェック

- ⑨ 「プライバシー」タブを選択し、「ポップアップブロック」の「設定」ボタンをクリックしてください。

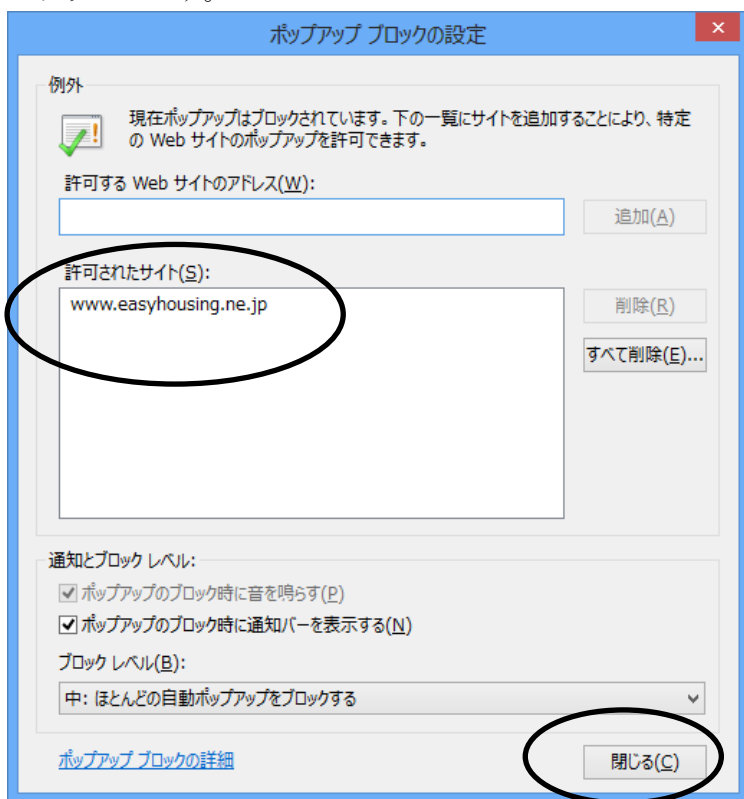


「許可する Web サイトのアドレス」に、「www.easyhousing.ne.jp」を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

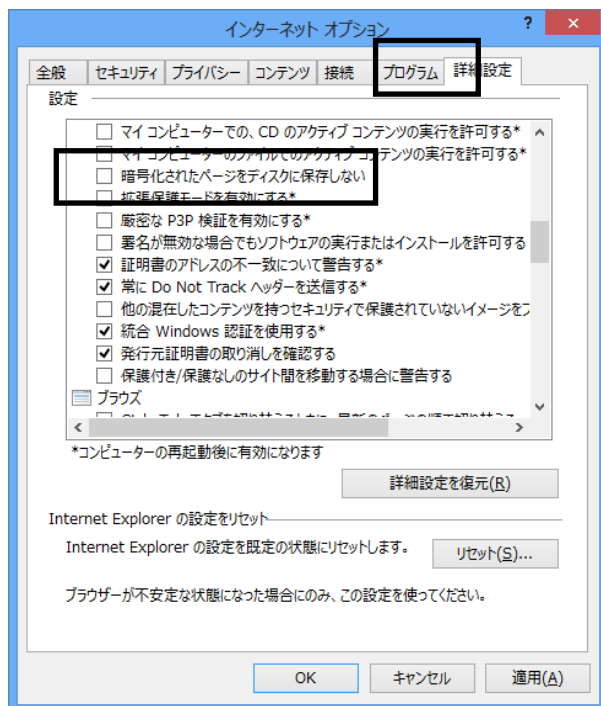


www.easyhousing.ne.jp
を入力

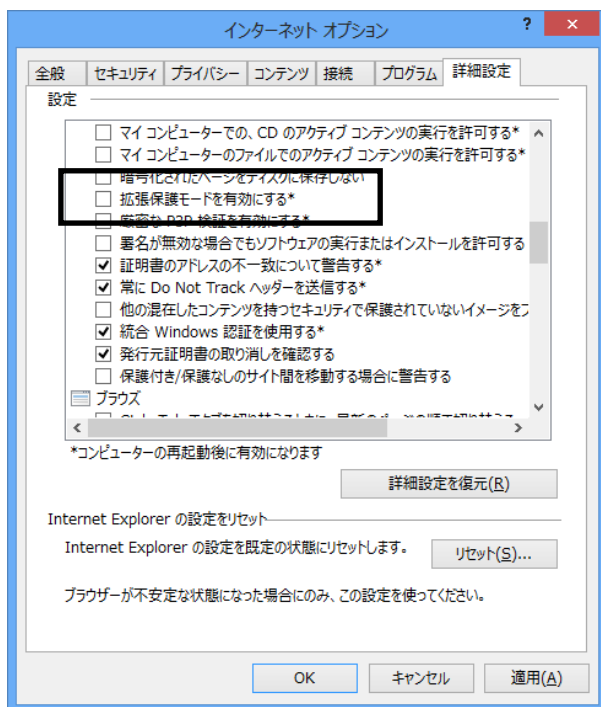
Response	Percentage
Yes, it is a crisis	95%
No, it is not a crisis	5%



- ⑩ インターネットオプションの「詳細設定」で、
「暗号化されたページをディスクに保存しない」にチェックがあった場合は
チェックを外します。

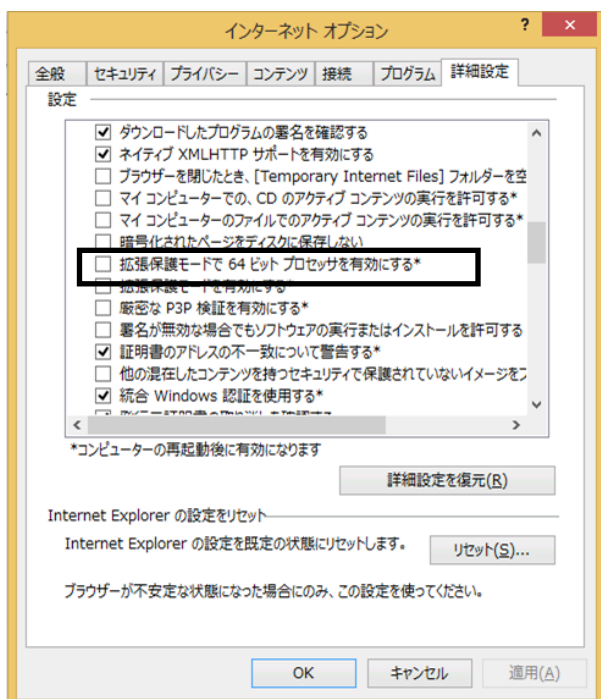


また、「拡張保護モードを有効にする」にチェックがあった場合はそのチェックも外します。



Windows 8.1(64bit) Internet Explorer 11 のみ

「拡張保護モードで 64 ビット プロセッサを有効にする」にチェックがあった場合はそのチェックも外します。



⑪ 『OK』 ボタンクリックで画面を閉じ、設定は終了です。

5 必要ソフトウェアのセットアップ

インストール作業を開始する前に、インストール操作での留意点は以下の通りです。

- (1) すべてのアプリケーションを終了してください
- (2) インストール中に電源を切らないでください

本書の手順以外でインストールした場合、動作の保証はできません。

5.1 JRE のインストール

◆JRE のインストール手順を説明します。

このマニュアルでは、JRE1.8 の場合について説明致します。

※:サイトの更新等により、ダウンロード時のファイル名、バージョン等が
画像と異なる場合があります。

①JRE をダウンロードします。

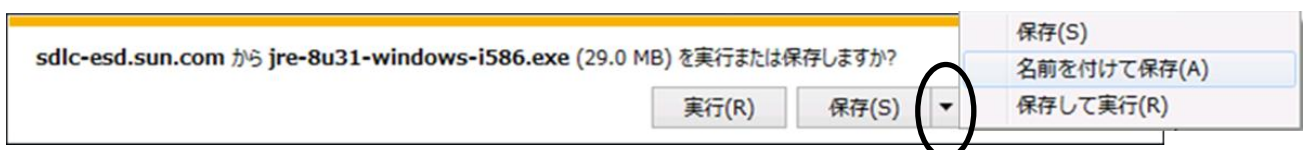
以下の URL にアクセスします。

http://java.com/ja/download/windows_offline.jsp

『同意して無料ダウンロードを開始』をクリックします。



「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」でデスクトップなど任意の場所に保存します。



※ダウンロードするファイルは、ダウンロードを行う時点での最新バージョンとなるため、ファイル名が上記画像と異なる場合があります。

②インターネットエクスプローラなどすべてのアプリケーションを閉じます。
JRE のインストール手順は以下を参照してください。

★注意★

インターネットエクスプローラを起動したままインストールした場合、再起動させるまで **JAVA** のインストールが有効になりません。

5.1.1 JRE1.8 のインストール手順

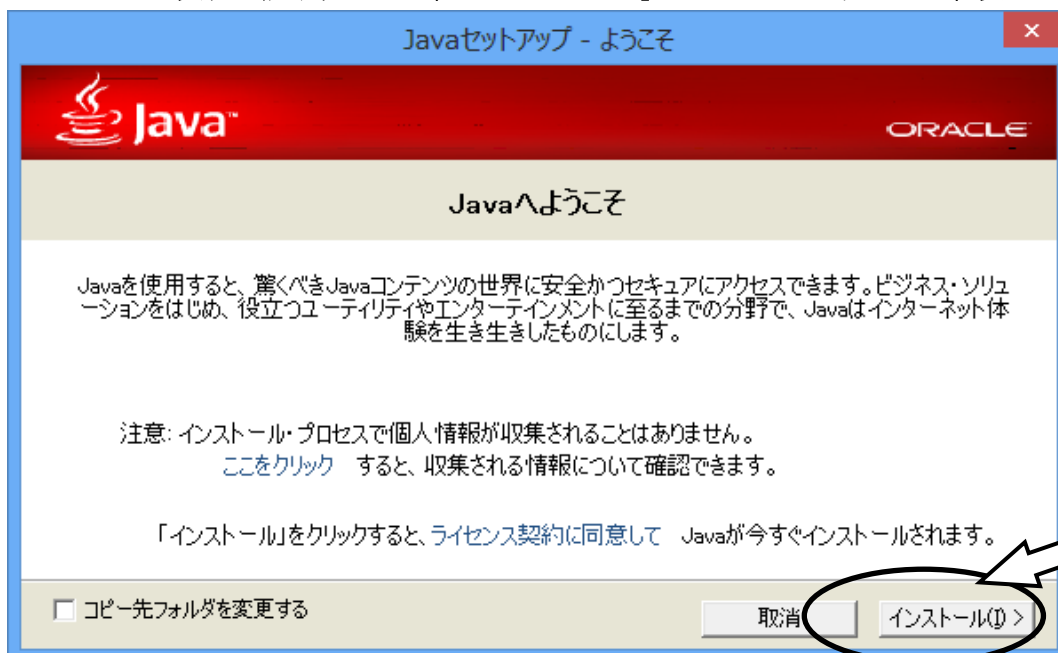
①保存したファイルのアイコンをダブルクリックします。

ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



②<Java のセットアップ>画面が表示されます。

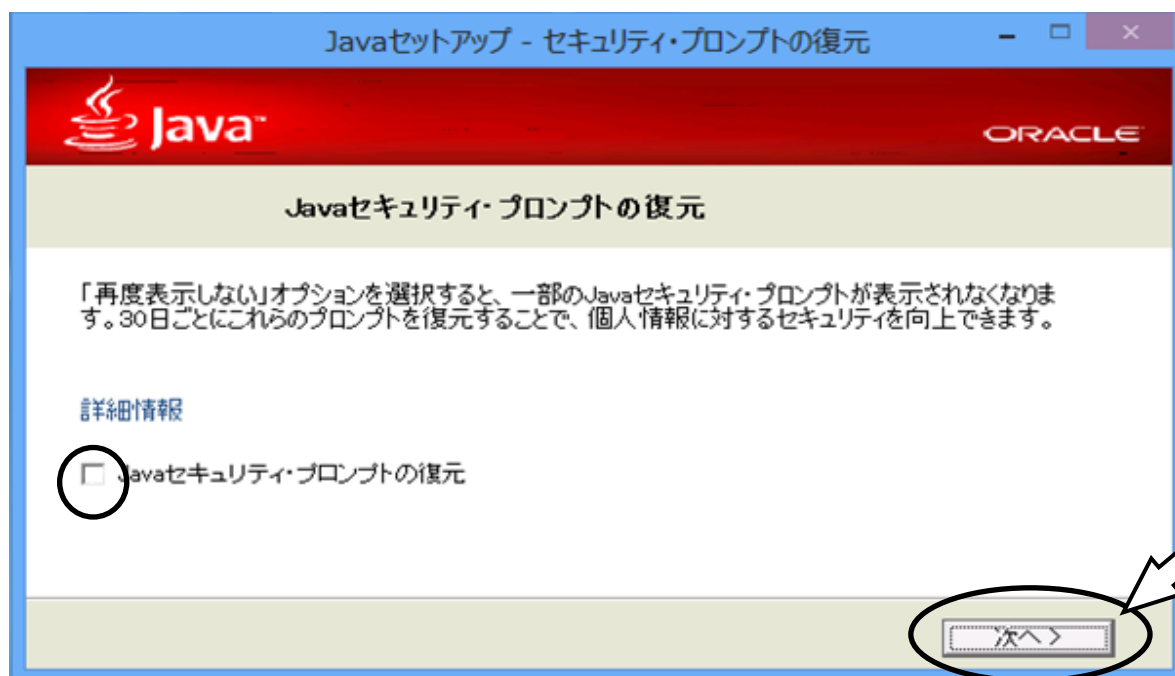
ライセンス契約を読み終えたら、「インストール」ボタンをクリックして、次に進みます。



③<セットアップ - 進行中>画面が表示されます。



※<セキュリティ・プロンプトの復元>画面が表示された場合、
チェックを外して『次へ >』ボタンをクリックしてください。



④<セットアップ - 完了>画面が表示されます。

『閉じる』ボタンをクリックします。



5.2 easyHousing 電子署名ライブラリ

5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード

ダウンロード手順

◆easyHousing 電子署名ライブラリのダウンロード手順を説明します。

- ① インターネットエクスプローラを立ち上げアドレスバーに easyHousing のURLを入力します。



- ②Enterキーを押下するとお知らせ画面が表示され、15秒経過するとログイン画面が表示されます。

※お知らせ画面は閉じないで下さい

ログイン画面では「企業管理コード（12桁）」と「ユーザーID」「パスワード」を入力することにより認証を行います。

企業コード、ログインID、パスワードを入力し、ログインします。



※電子証明書ライブラリがインストール済みの場合(アップグレードなど)

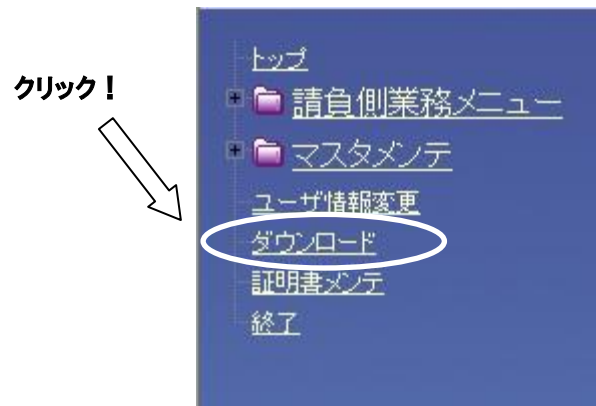
以下のような画面が表示された場合は、次の手順を実行して下さい。

- ①『この発行者および前述の場所からのアプリケーションでは、次回から表示しない』
をチェックします。
- ②『実行』ボタンをクリックします。

※環境によって、画面や文章が一部異なる場合があります。



③メニューから【ダウンロード】を選んでください。



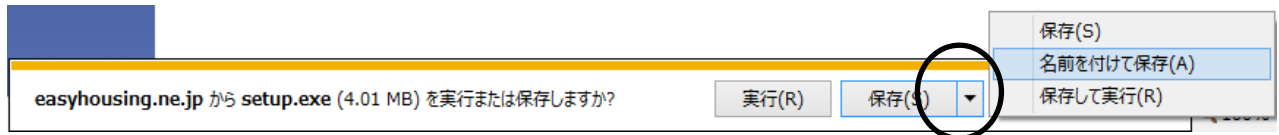
④＜ダウンロード＞画面が表示されます。

「電子署名ライブラリセットアップファイル」右の「download」という文字をクリックします。

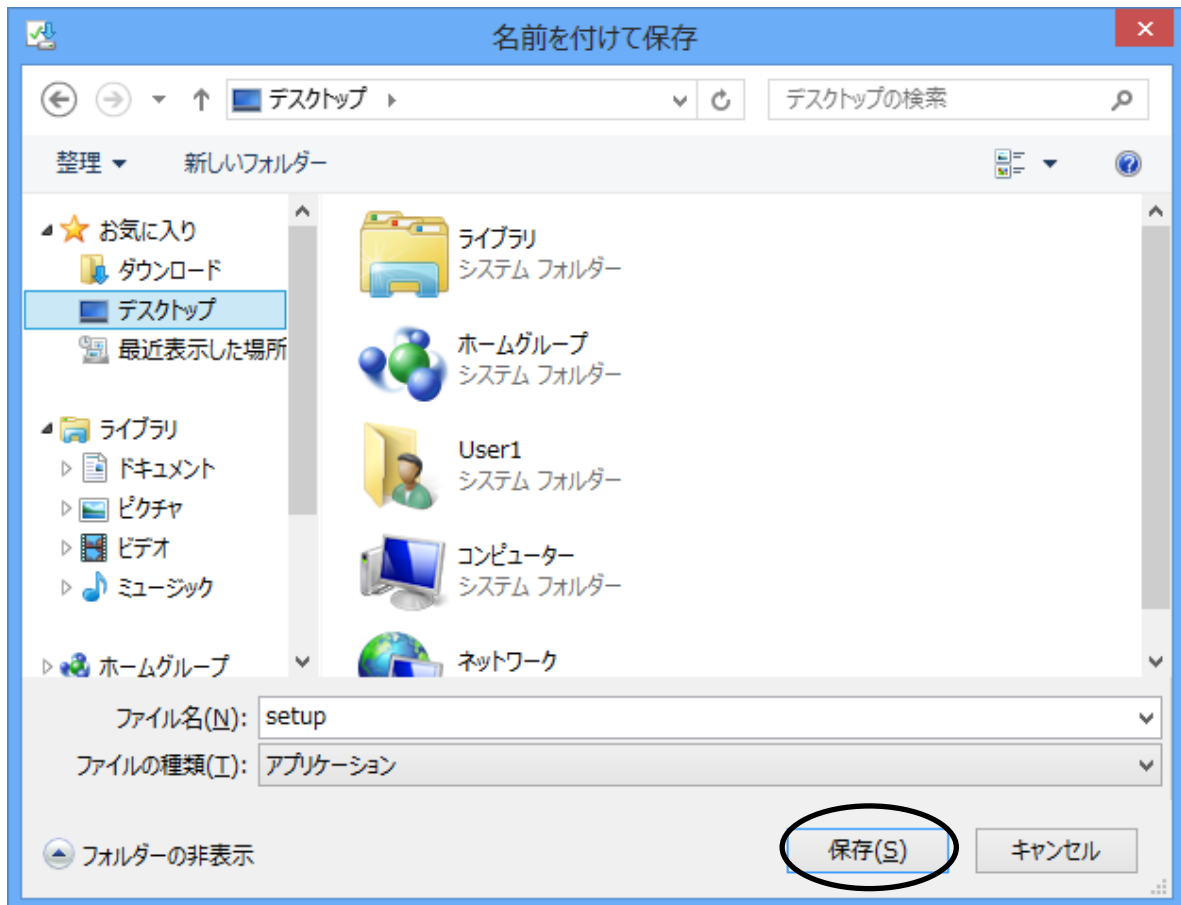


⑤<ファイルのダウンロード>画面が表示されます。

「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」をクリックしてください。

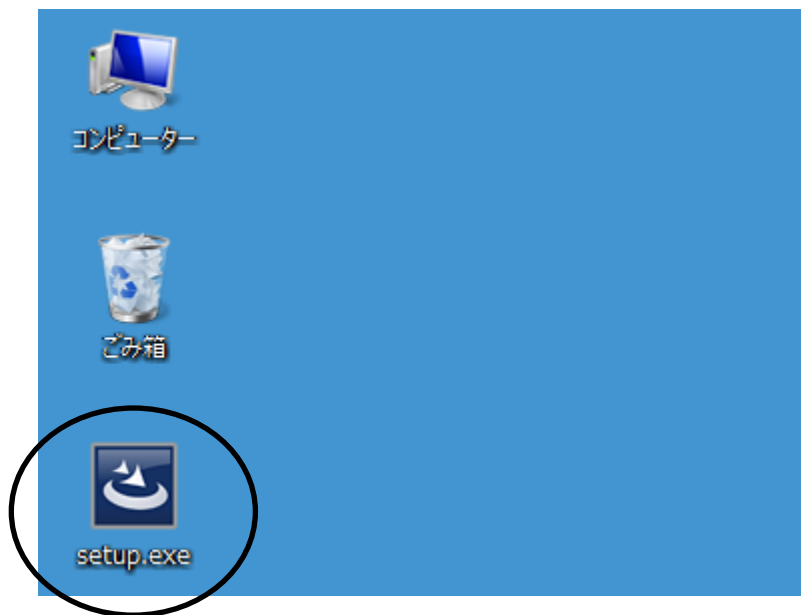


⑥<名前をつけて保存>画面が表示されます。デスクトップなど任意の場所へ保存してください。



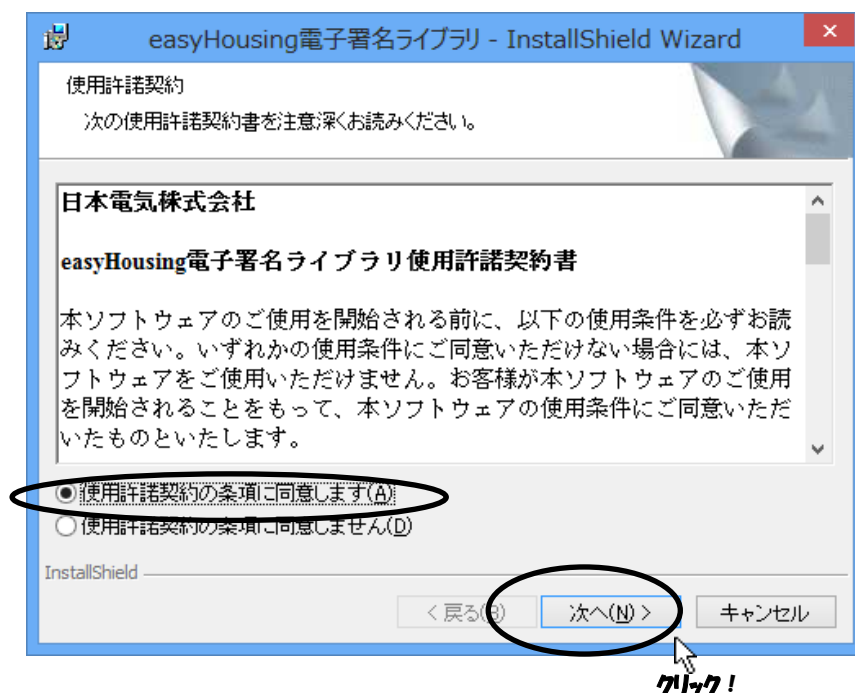
5.2.2 電子署名ライブラリのインストール

- ①「5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード」でダウンロードしたファイル「setup.exe」をダブルクリックし、セットアップを開始します。

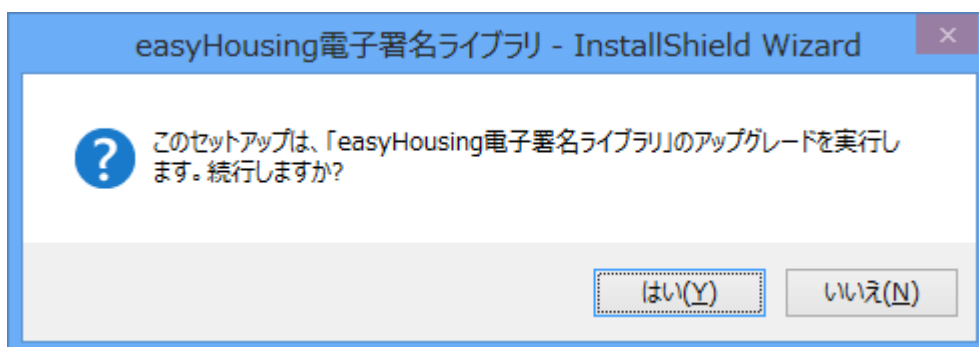


- ②InstallShield Wizard が起動します。

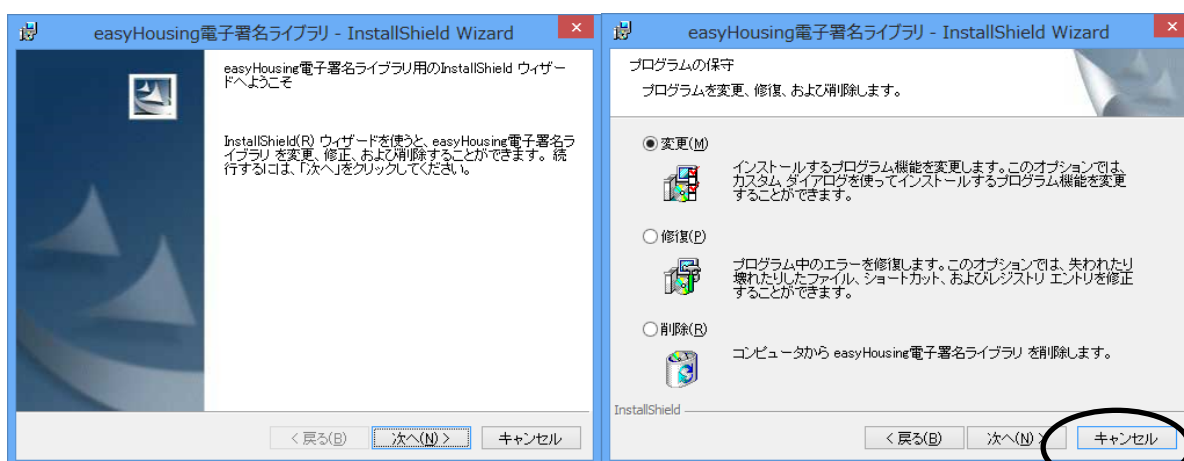
- 初めて電子署名ライブラリをインストールする場合、＜使用許諾契約＞の画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



※アップグレードの確認画面が表示された場合は、「5.2.3 電子署名ライブラリのアップデート」の手順を参照して下さい。



※変更、修正(修復)、および削除の画面が表示された場合、電子署名ライブラリはインストール済ですので『キャンセル』ボタンをクリックして下さい。(電子署名ライブラリを再インストールする場合は、アンインストール後手順①からインストールをやり直してください)



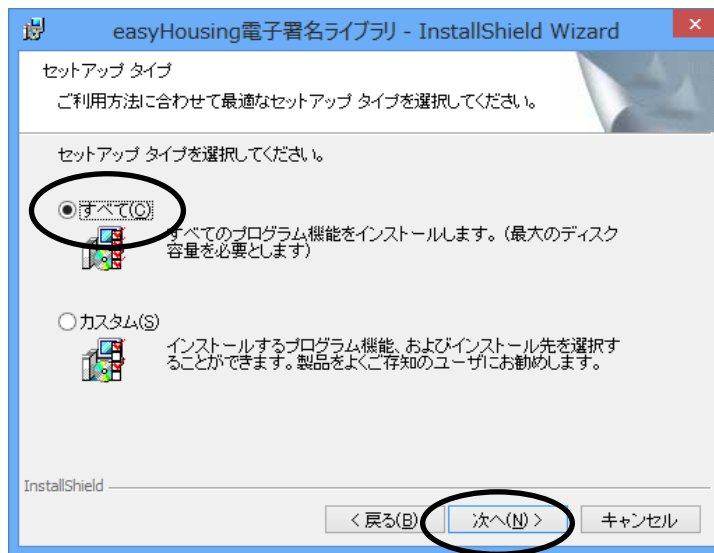
③<セットアップタイプ>の画面が表示されます。

セットアップタイプ「すべて」（通常）か、「カスタム」を選択したら『次へ』ボタンをクリックします。

- 通常は「すべて」を選択します。その場合インストール先はデフォルトで

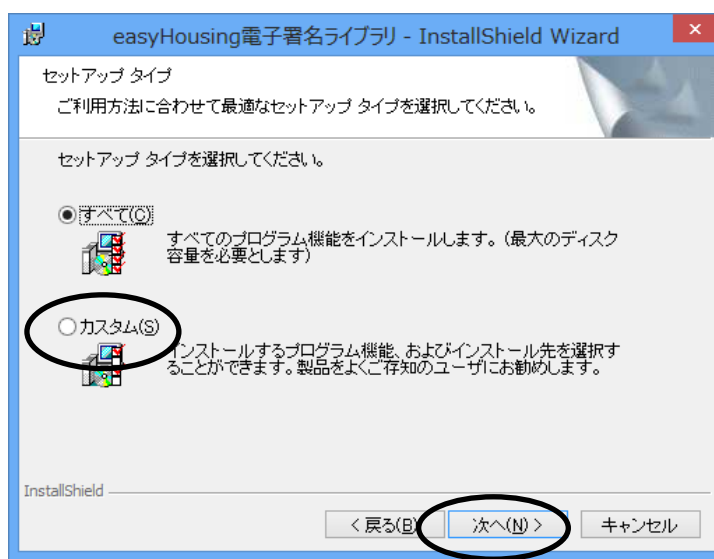
“C:\¥Program Files¥NEC¥jasp” となります。

⇒「すべて」を選択した場合、手順⑦へ進みます。



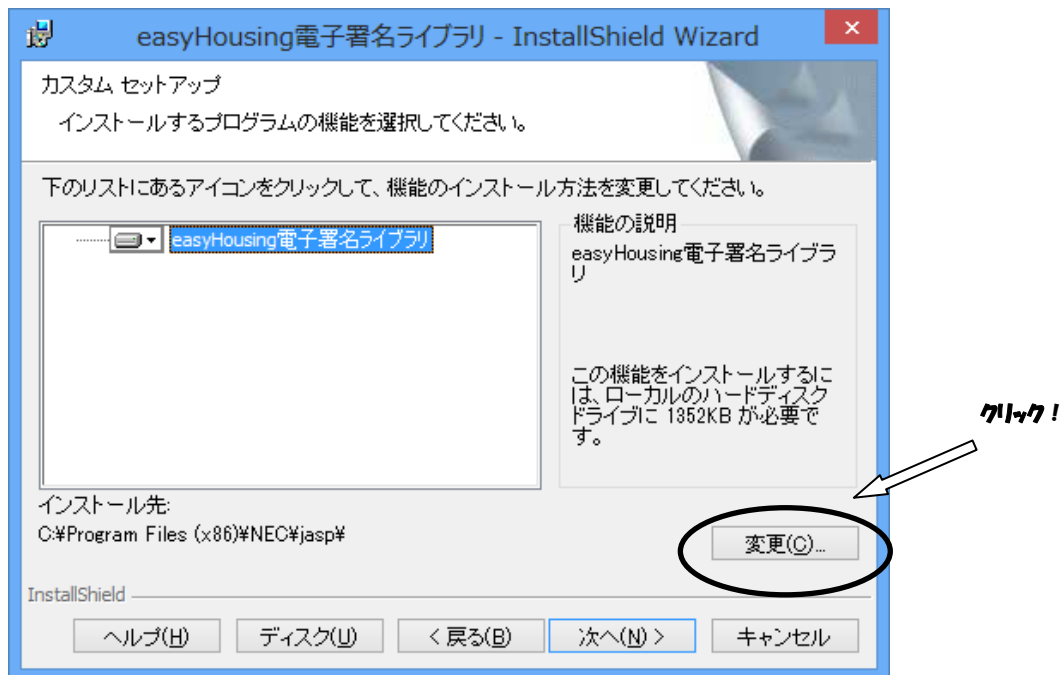
手順⑦へ進んでください。

- 「カスタム」を選択した場合、インストール先のフォルダをデフォルト以外に指定することができます。

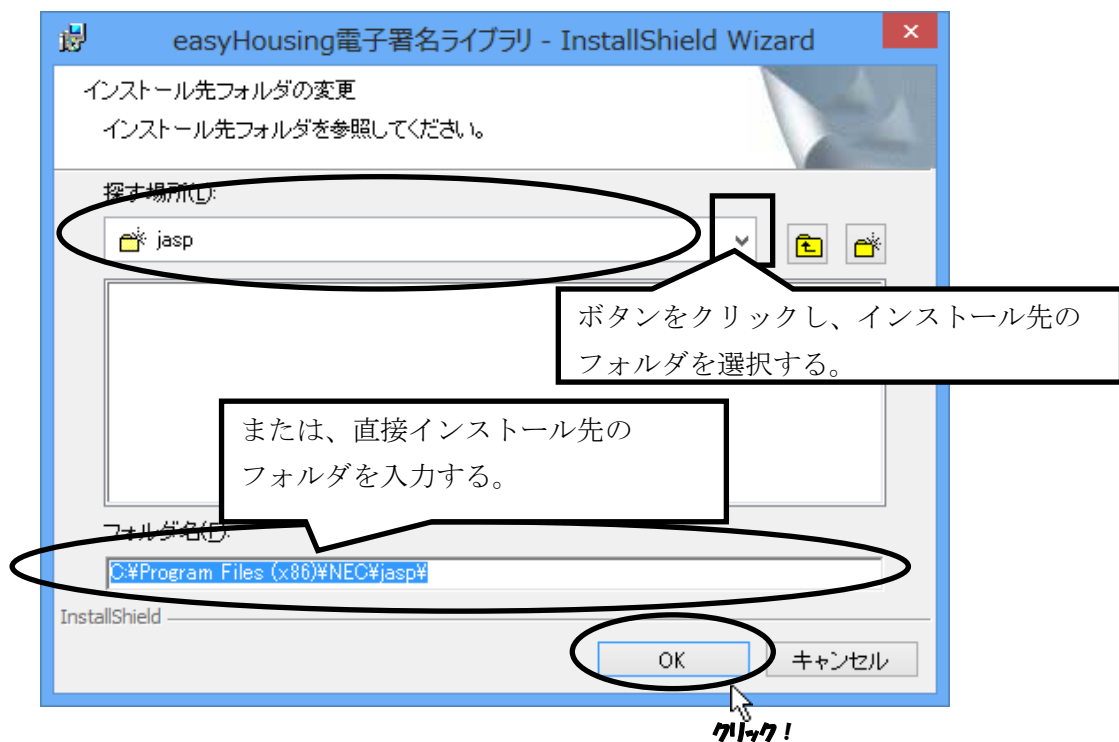


手順④へ進んでください。

- ④<カスタムセットアップ>画面が表示されます。(手順③で「カスタム」を選択した場合)
『変更』ボタンをクリックします。

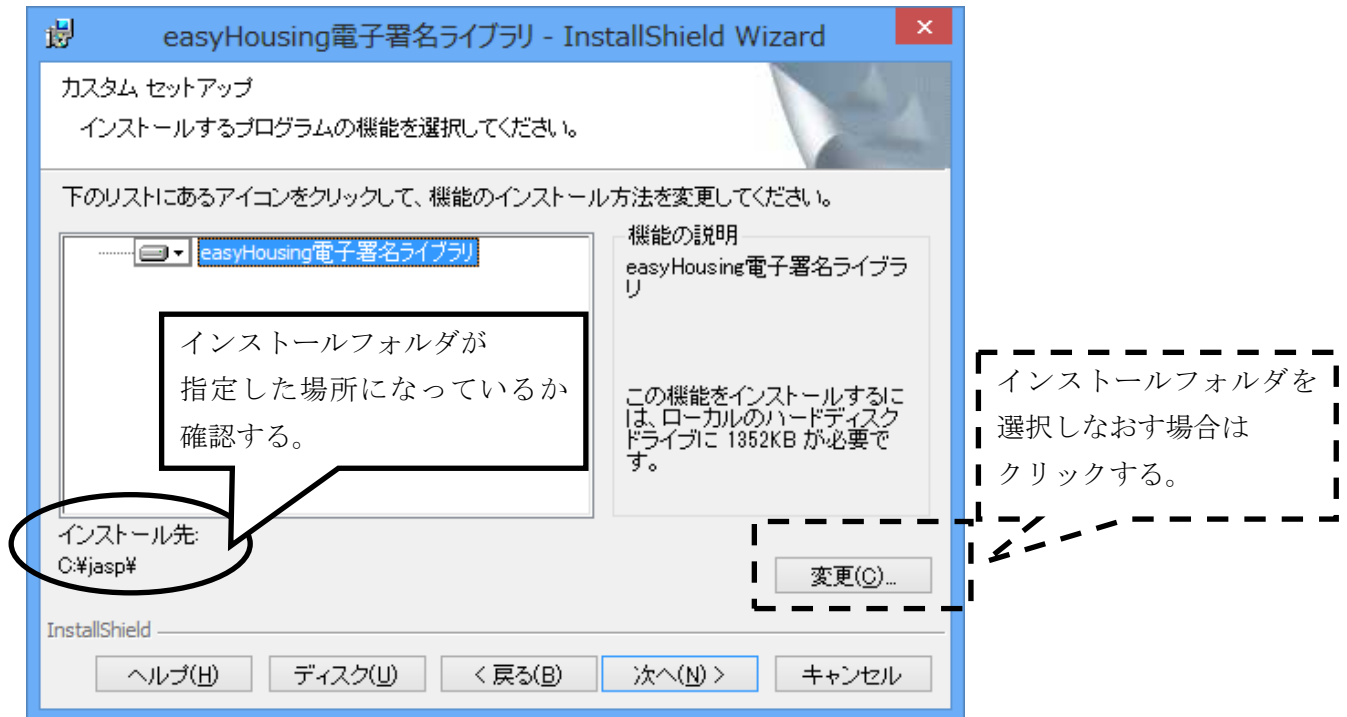


- ⑤<インストール先フォルダの変更>画面が表示されます。
「探す場所」プルダウンメニューからインストールフォルダを指定するか、または
「フォルダ名」 の枠内に直接インストールフォルダの場所を入力し『OK』ボタンを
クリックします。



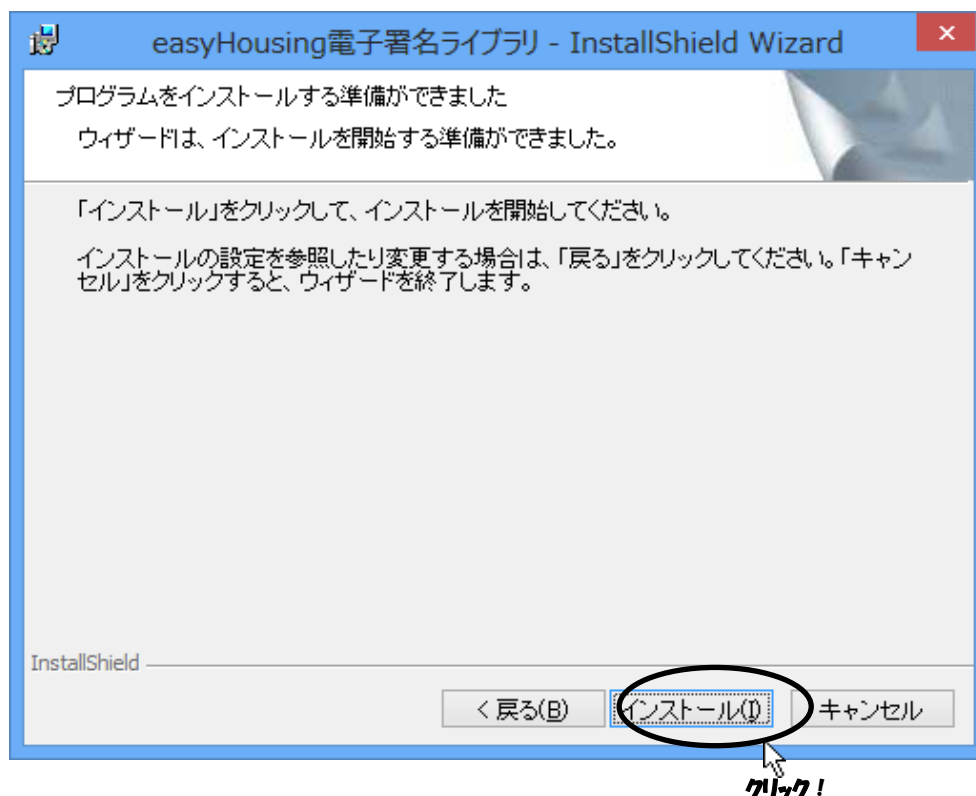
⑥<カスタムセットアップ>画面が表示されます。

「インストール先」が変更されていることを確認し、『次へ』ボタンをクリックします。
再度、インストール先を変更する場合は『変更』ボタンをクリックし、手順⑤へ戻ります。

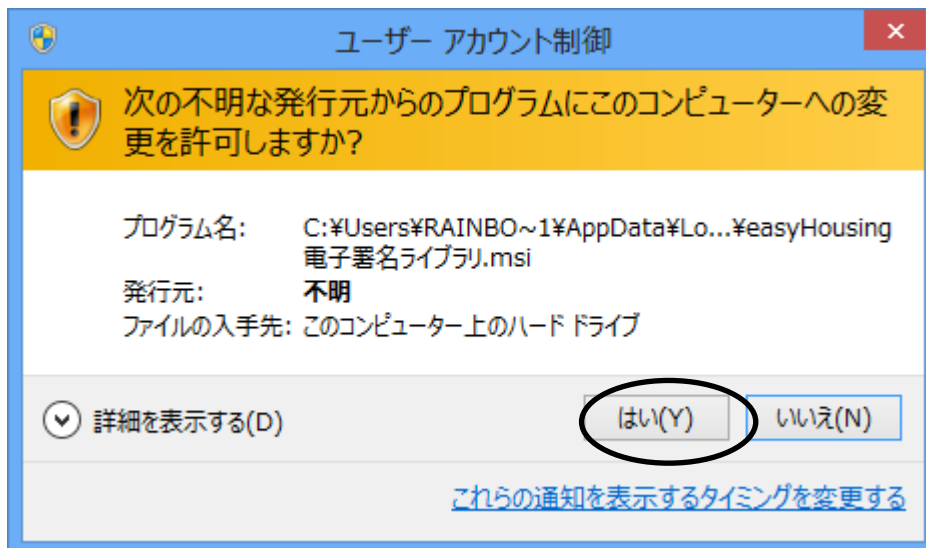


⑦<プログラムをインストールする準備ができました>画面が表示されます。

『インストール』ボタンをクリックし、インストールを開始します。



以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



(パスワードの入力欄が表示された場合)

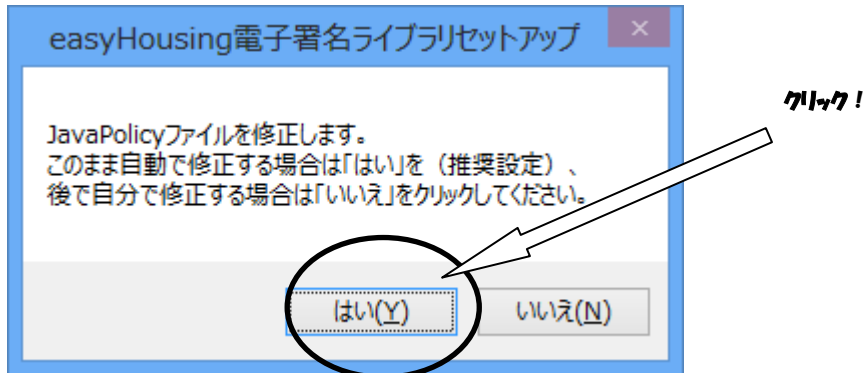
Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



⑧インストール中に「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログが表示されます。

通常は『はい』ボタンをクリックし、修正を行います。

『いいえ』を選択した場合は、インストール後自分で修正します。



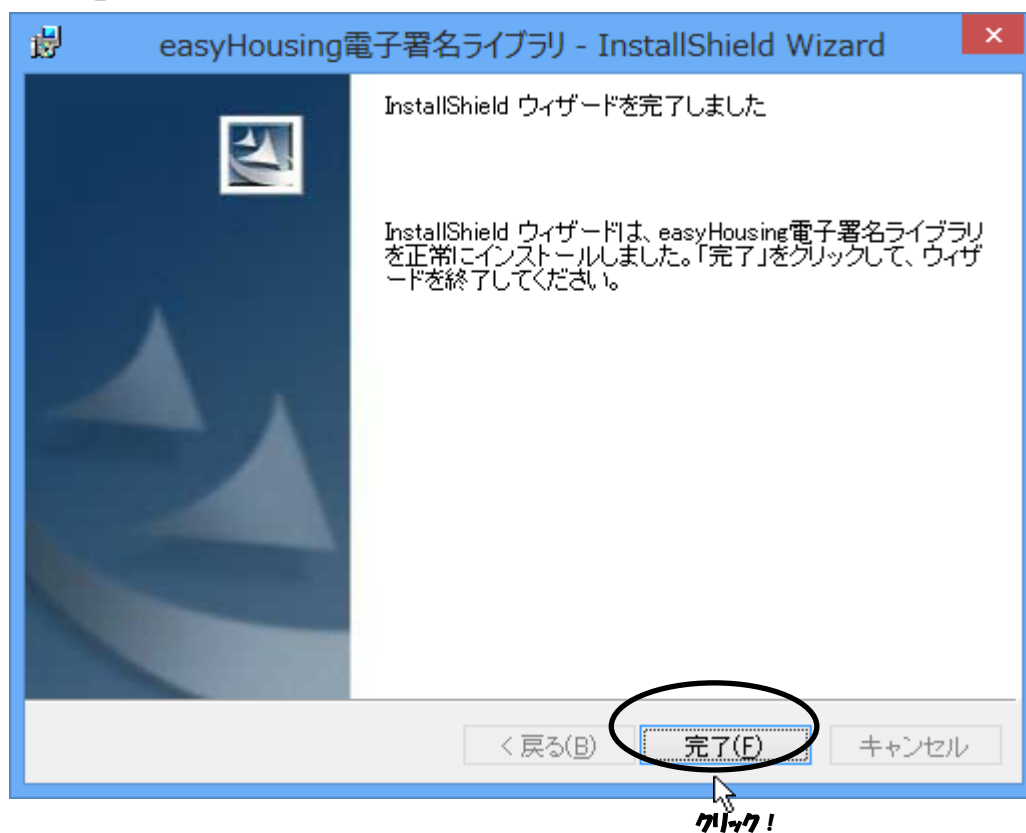
- 「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログで『いいえ』を選択しインストール後に「Javapolicy ファイル」を修正する場合は、以下の記述を追加します。

*JavaPolicy ファイルはユーザのフォルダにあります。(C:¥Users¥(ユーザ名))

> 記述内容 <

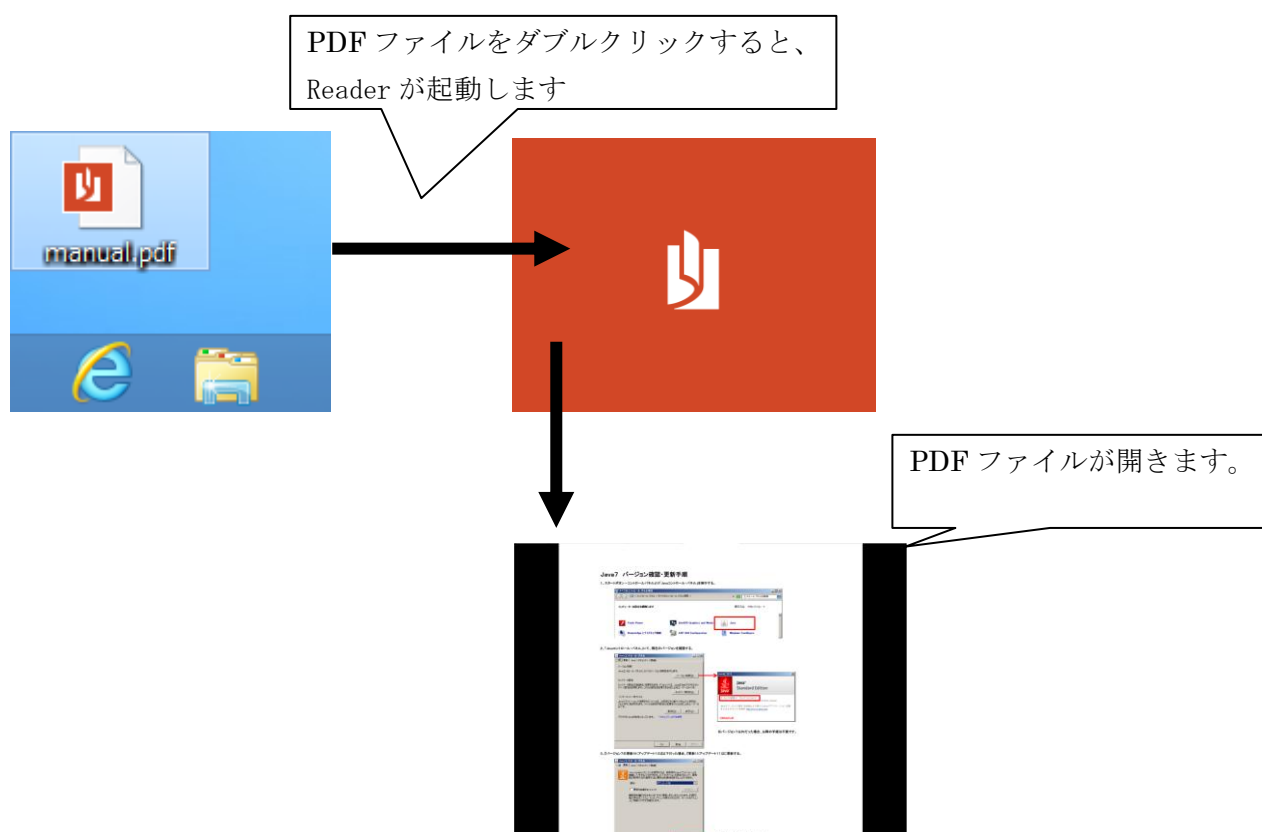
```
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
```

- ⑨<InstallShield ウィザードを完了しました>画面が表示されたら、
『完了』ボタンをクリックし、インストール作業は終了です。



5.3 Reader について

Windows8 は、Windows7 までと異なり「Adobe Reader」をインストールしなくても「Reader」で PDF ファイルを開くことができます。



※Adobe Reader をインストールして使用する事もできますが、Windows8 に対応しているのは Adobe Reader XI(11)以降になります。

以上で、本サービス利用にあたっての環境設定はすべて終了となります。

補足1 必要ソフトウェアのアンインストール手順

この章では、各ソフトウェアのアンインストール手順を説明します。
インストールが正常に行われず、再インストールが必要になった場合などに参照して下さい。

補足1.1 Java アンインストール手順

- ①デスクトップ上の何もない場所で右クリック→「個人設定」→
「コントロール パネルホーム」をクリックし、表示方法を「カテゴリ」にします。

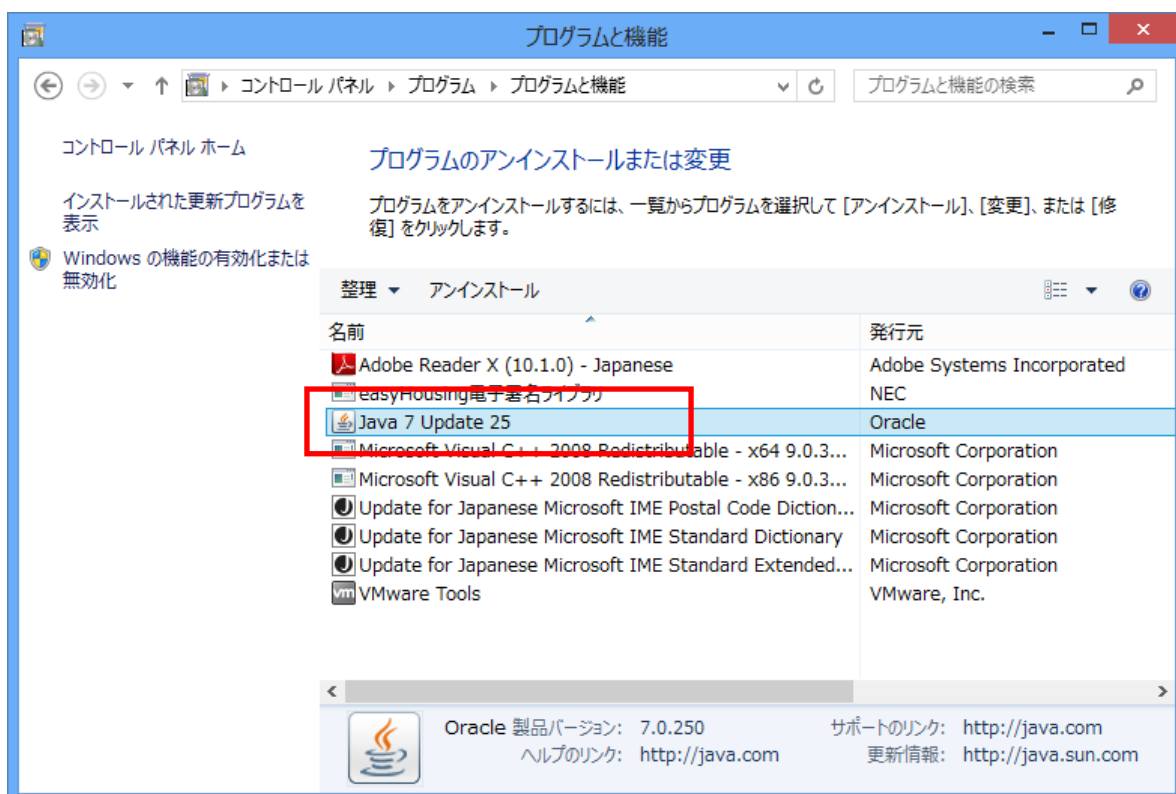




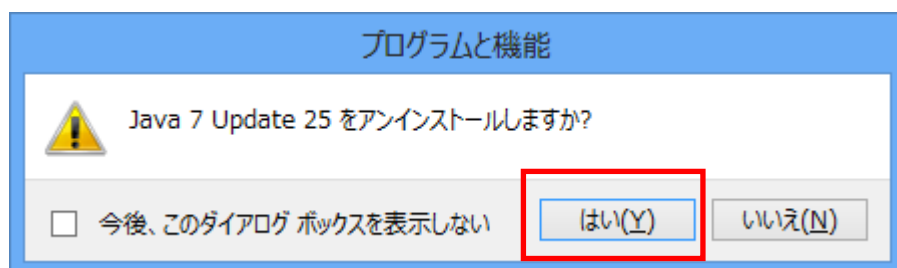
②「プログラムのアンインストール」をクリックします。



③Java (複数表示されていた場合は、バージョンの古いもの)をダブルクリックします。



④「プログラムと機能」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



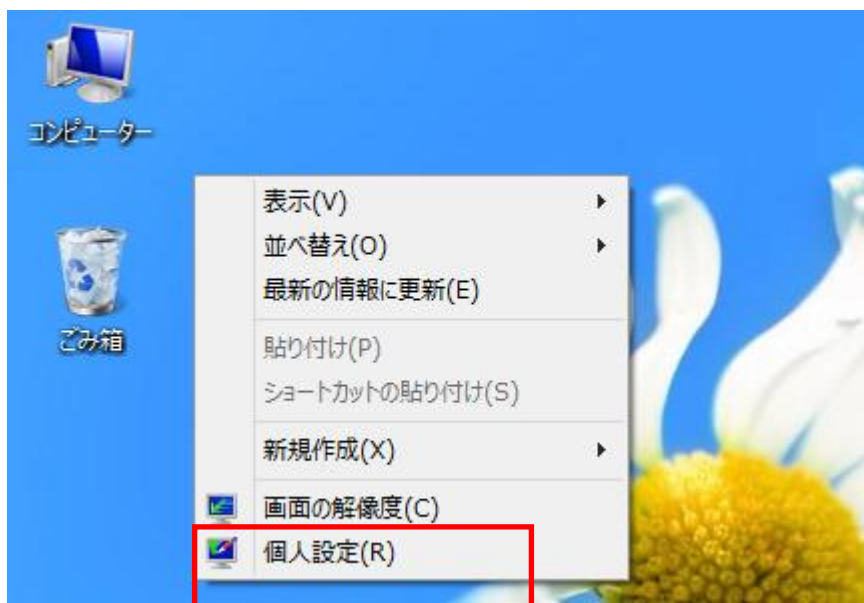
(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



補足1.2 電子署名ライブラリ アンインストール手順

- ①デスクトップ上の何もない場所で右クリック→「個人設定」→
「コントロール パネルホーム」をクリックし、表示方法を「カテゴリ」にします。

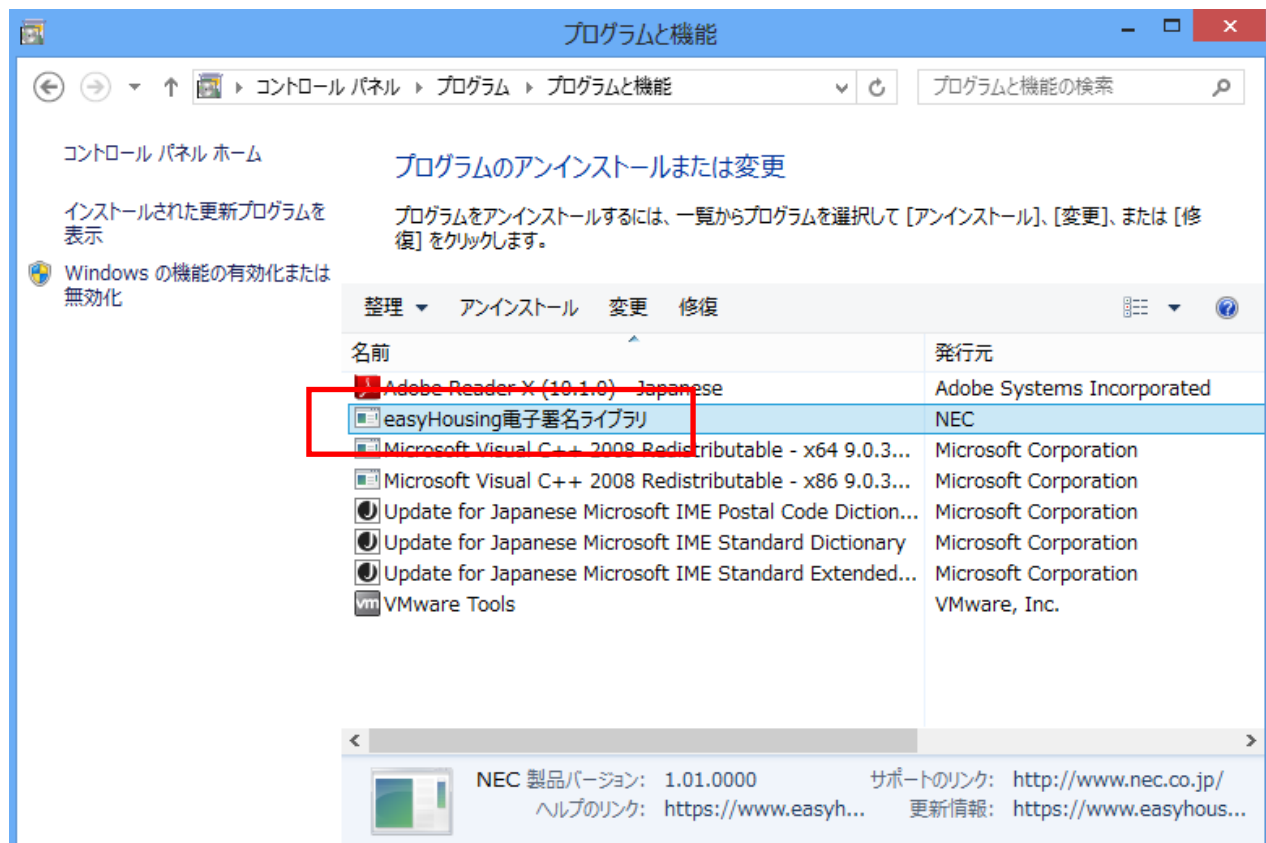




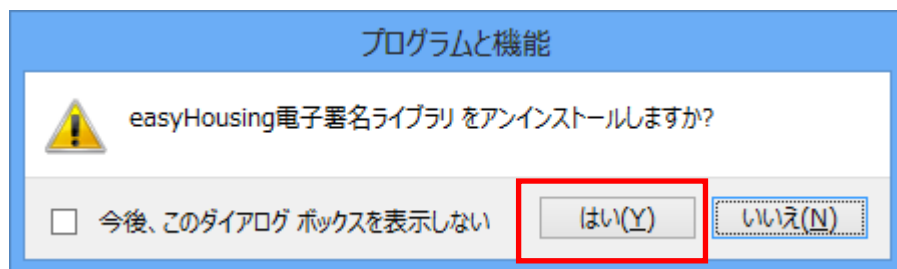
② 「プログラムのアンインストール」 をクリックします。



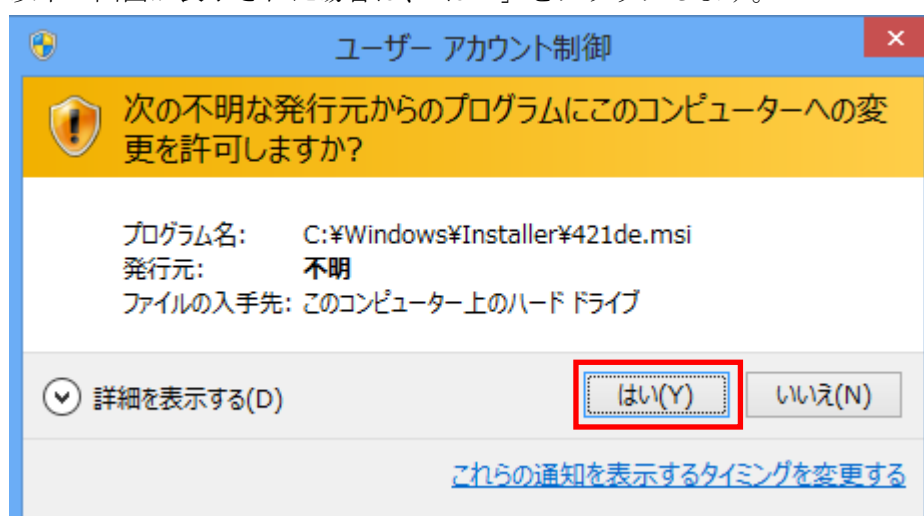
③ 「easyHousing 電子署名ライブラリ」 をダブルクリックします。



④「プログラムと機能」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

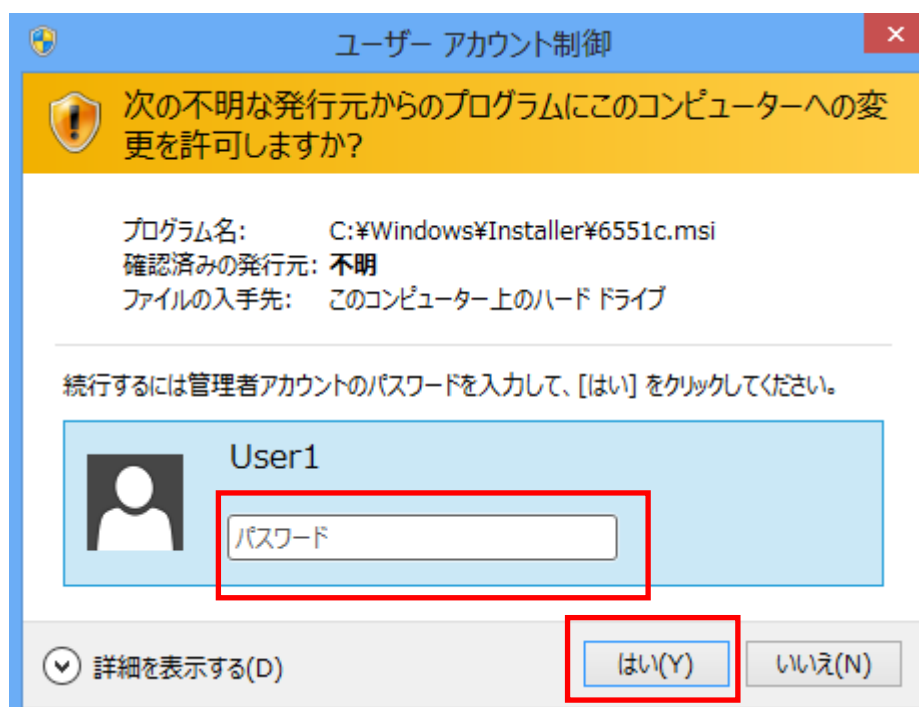


以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



補足2 必要ソフトウェアの更新手順

この章では、各ソフトウェアの更新手順を説明します。

インストール後に更新版が公開され、その使用が推奨されていた場合などに参照して下さい。

補足2.1 Java アップデート手順

①デスクトップ上の何もない場所で右クリック→「個人設定」→

「コントロール パネルホーム」をクリックし、表示方法を「大きいアイコン」にします。

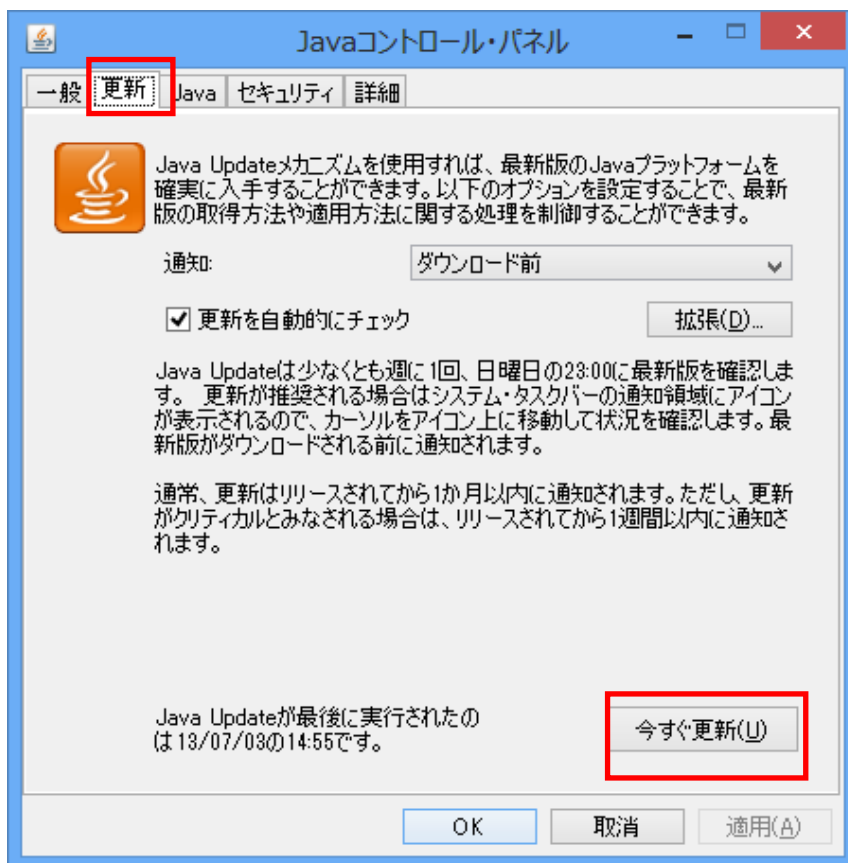




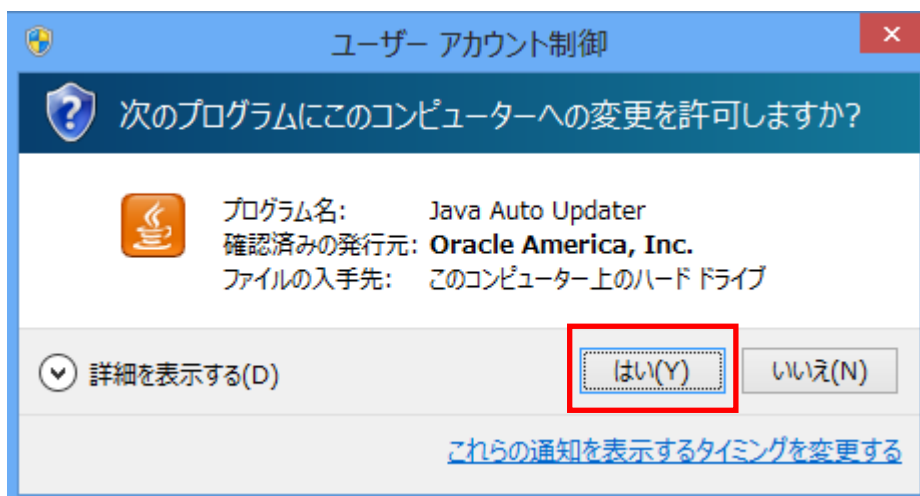
②Java のアイコンをダブルクリックします(次の画面が表示されるまで、数分かかる場合があります)



③Java コントロールパネルの「更新」タブをクリックし、「今すぐ更新」をクリックします。



④以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックして下さい。



(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。

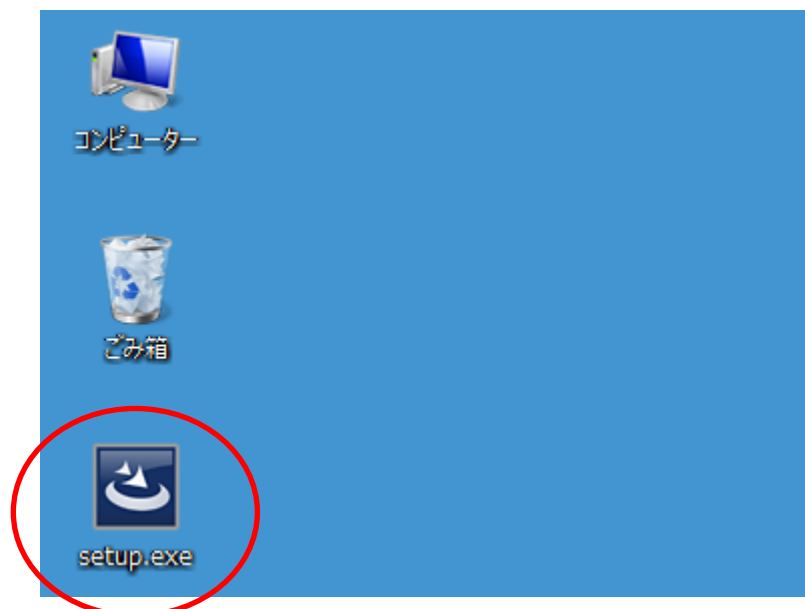


※更新中に、Ask の画面が表示された場合は赤枠の部分のチェックを外し、
「次 >」 ボタンを押してください。

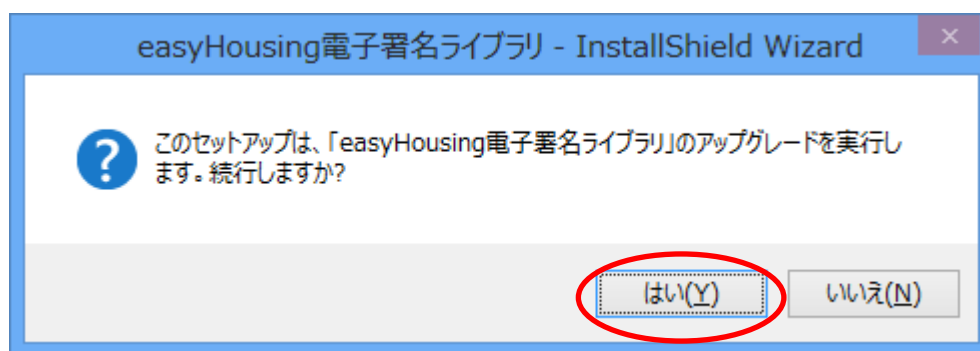


補足2.2 電子署名ライブラリ アップグレード手順

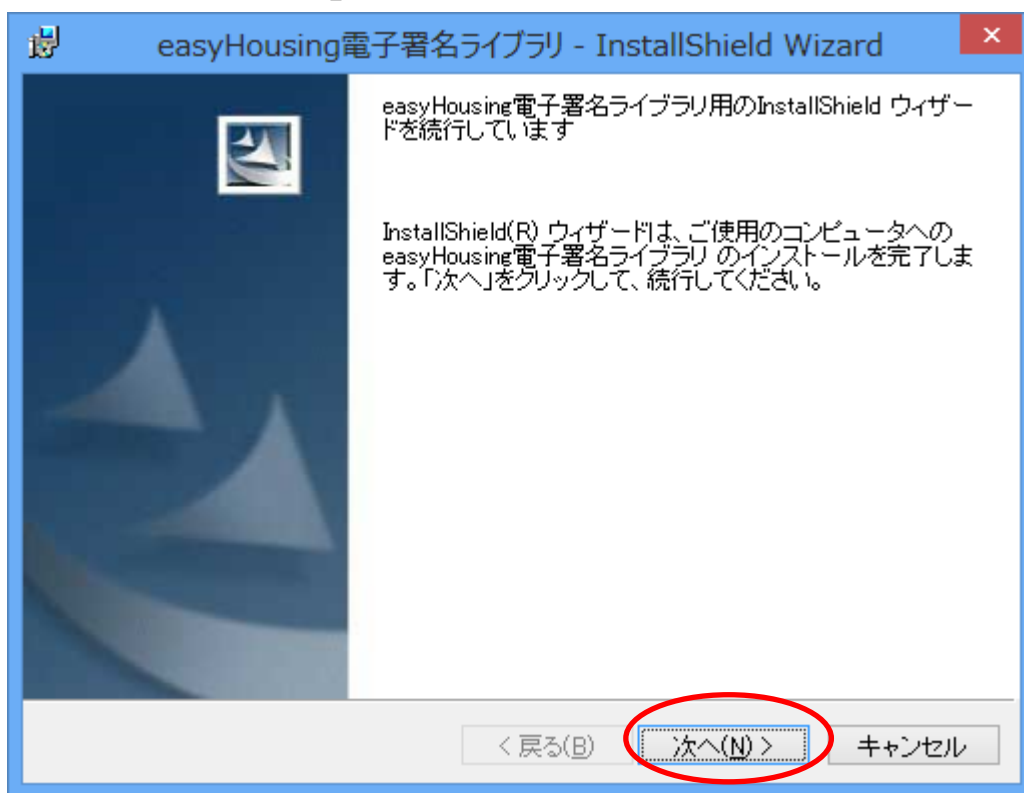
①29 ページ「5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード」の手順で「setup.exe」をダウンロードし、ダブルクリックします。



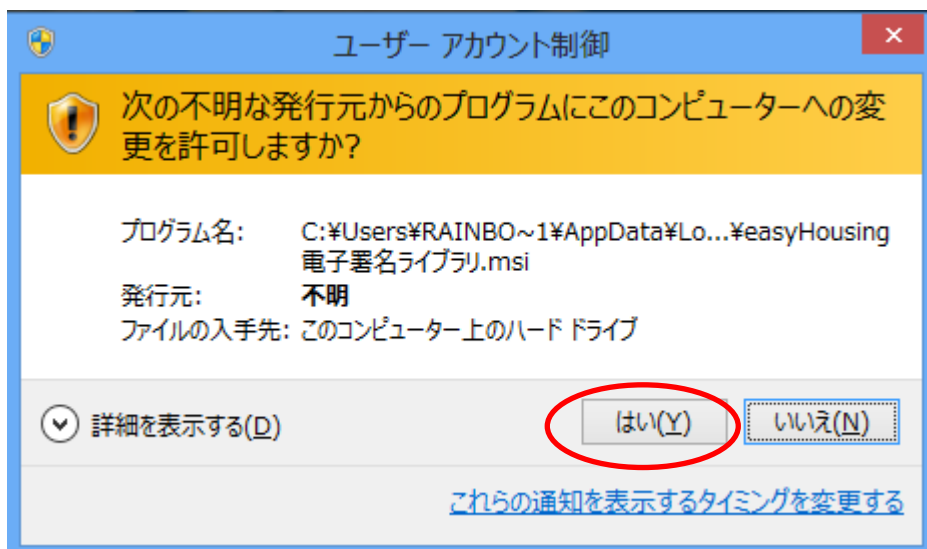
アップグレードの確認画面では、「はい」をクリックします。



②以下の画面では、『次へ』ボタンをクリックします。



以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

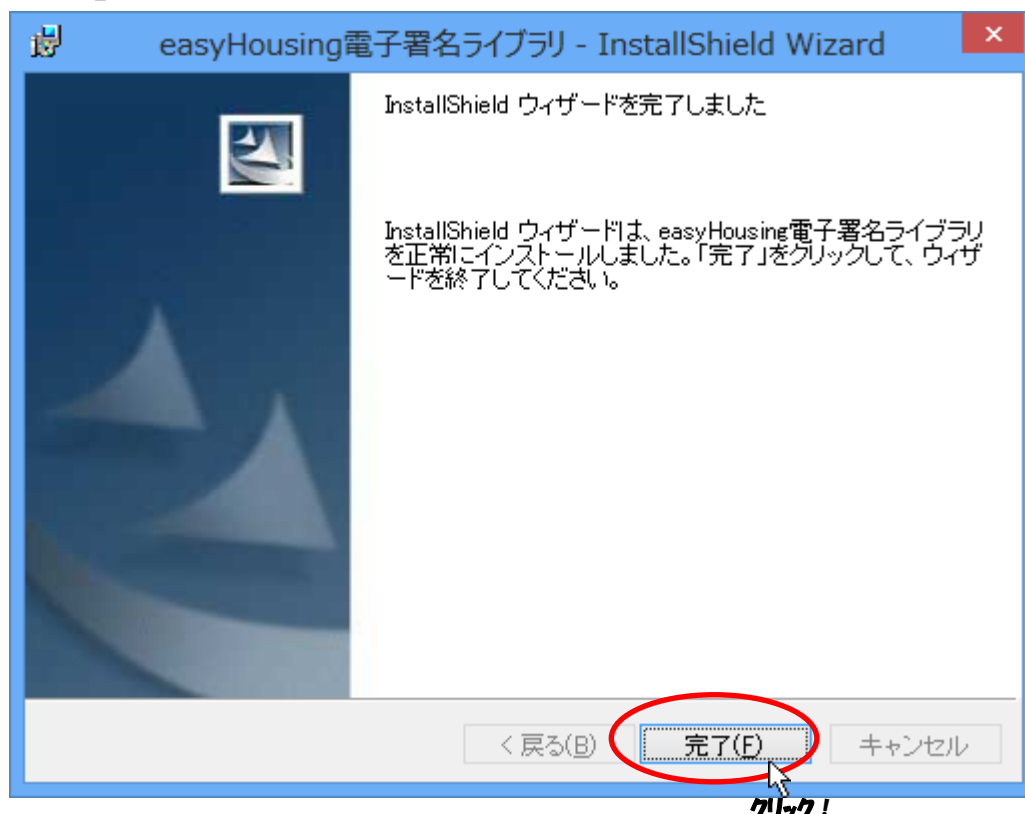


(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



③<InstallShield ウィザードを完了しました>画面が表示されたら、『完了』ボタンをクリックし、アップグレード作業は終了です。



環境設定マニュアル Windows8 編

2015 年 3 月 9 日 第 1.7 版

製作／日本電気株式会社

- ※ Microsoft®、Windows®、Microsoft®Internet Explorer は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における登録商標です。
- ※ その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。